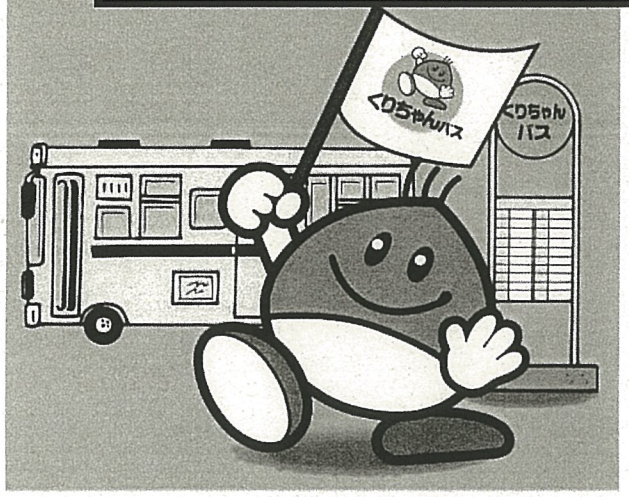
資料5

栗東市バス対策地域協議会

～栗東市の現況について～



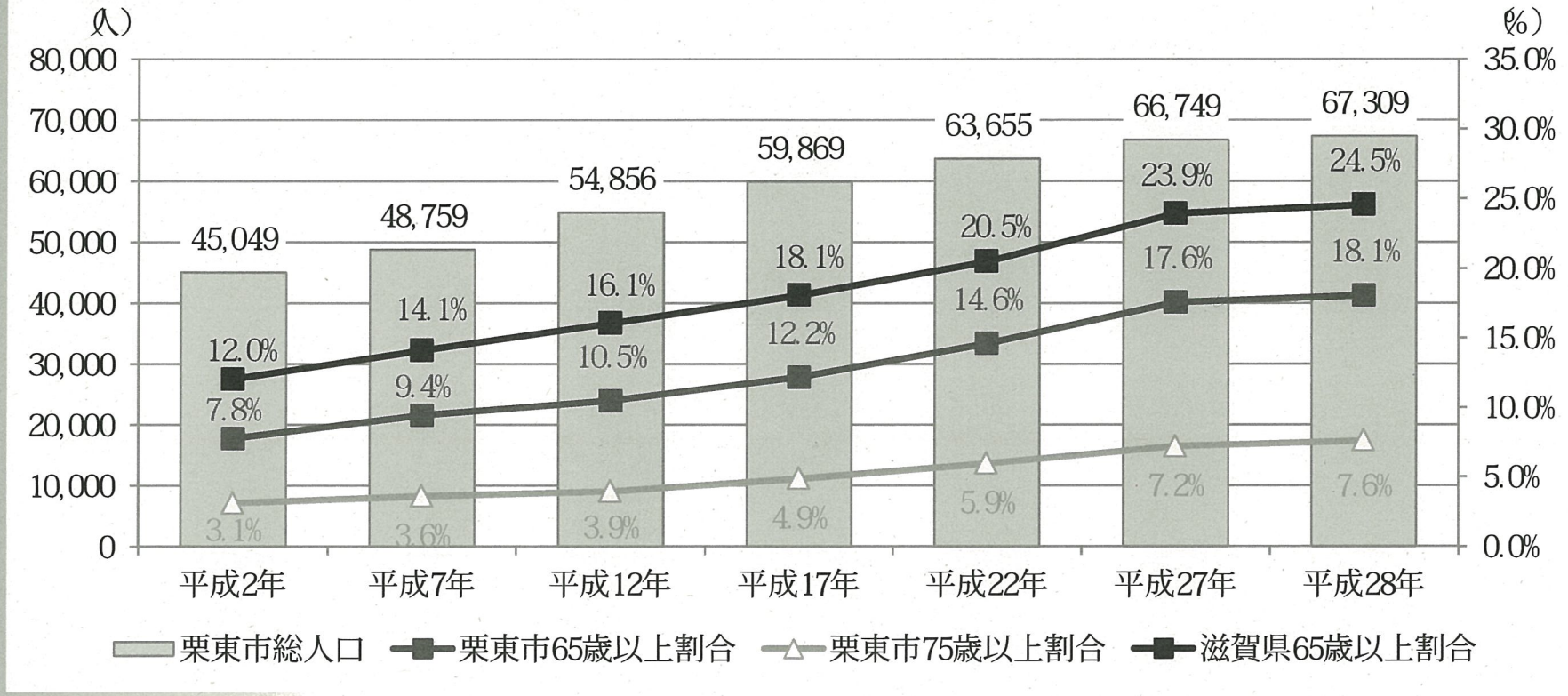
平成３０年２月８日

栗東市 建設部 土木交通課



1. 人口特性

① 人口と高齢化率の推移



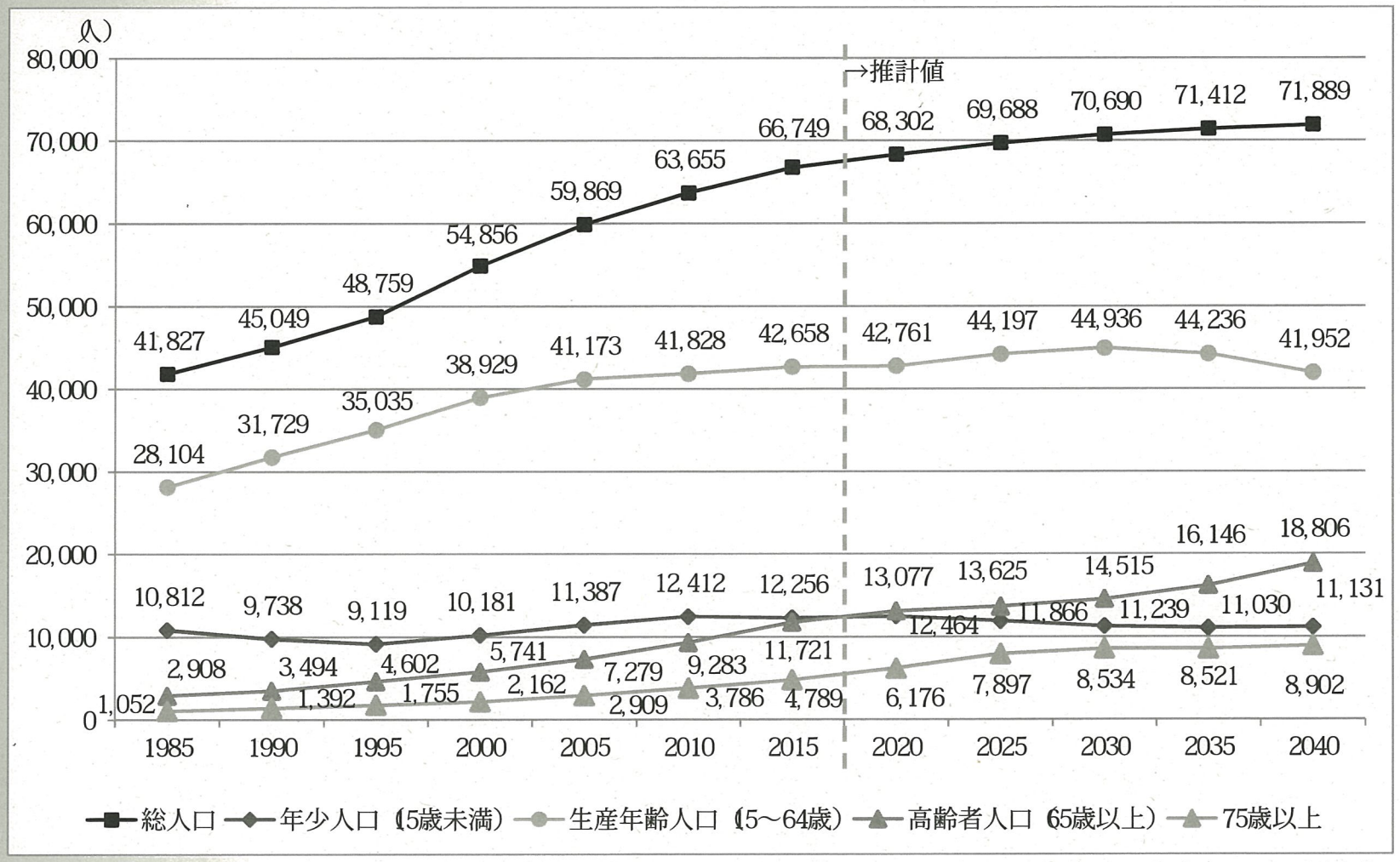
資料：平成2年～平成27年は国勢調査、平成28年は滋賀県推計人口年報(10月1日付)

図　栗東市の人口と高齢化率の推移



1. 人口特性

① 人口と高齢化率の推移



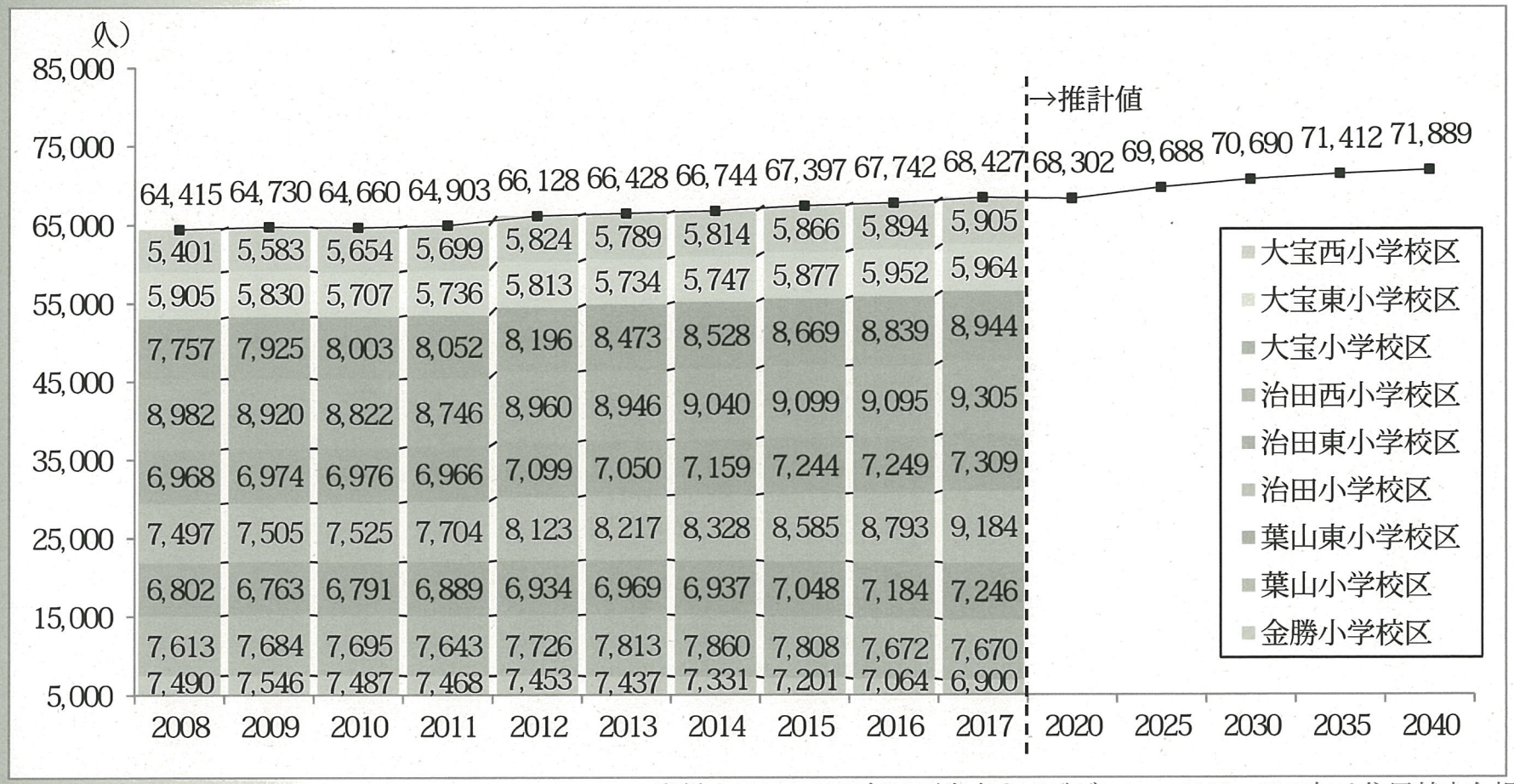
資料：2015年までは国勢調査、2020年以降は社人研『日本の地域別将来推計人口』

図　栗東市の年齢3区分別にみた人口の推移



1. 人口特性

① 人口と高齢化率の推移



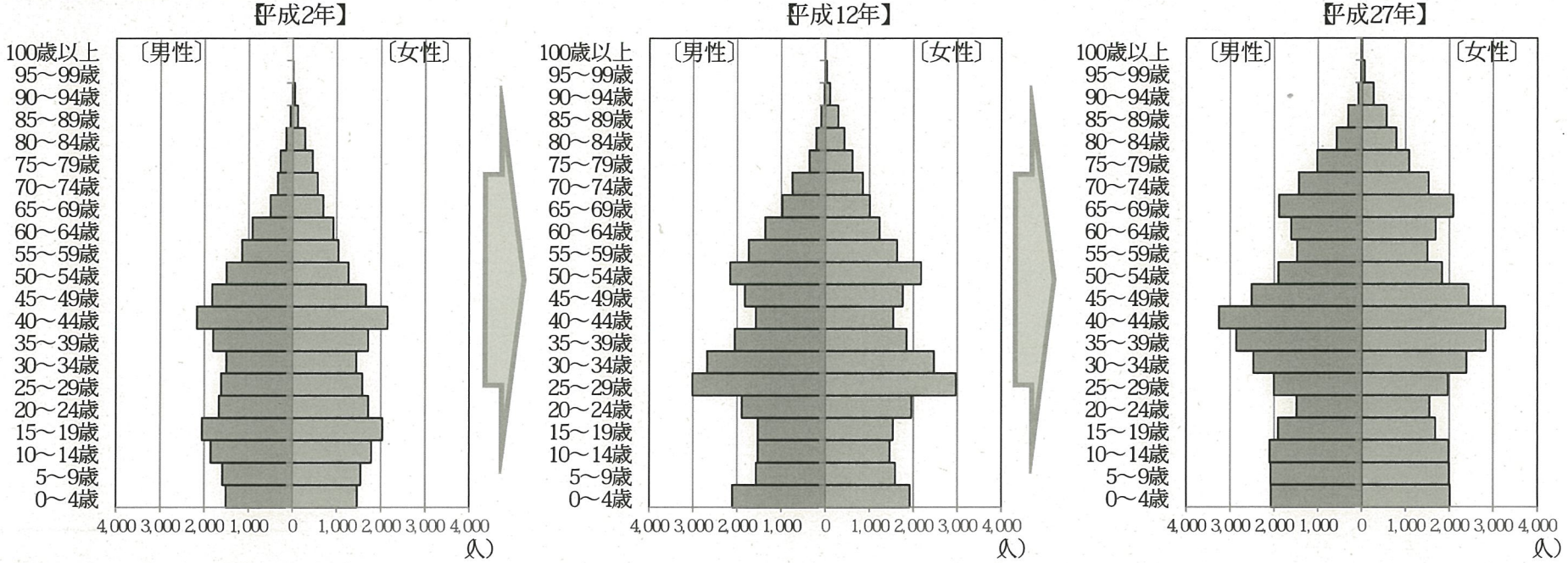
資料：2008～2010年は栗東市人口ビジョン、2010～2017年は住民基本台帳、
2020年以降は、社人研『日本の地域別将来推計人口』

図　栗東市の年齢3区分別にみた人口の推移



1. 人口特性

② 性別年齢5歳別人口の推移



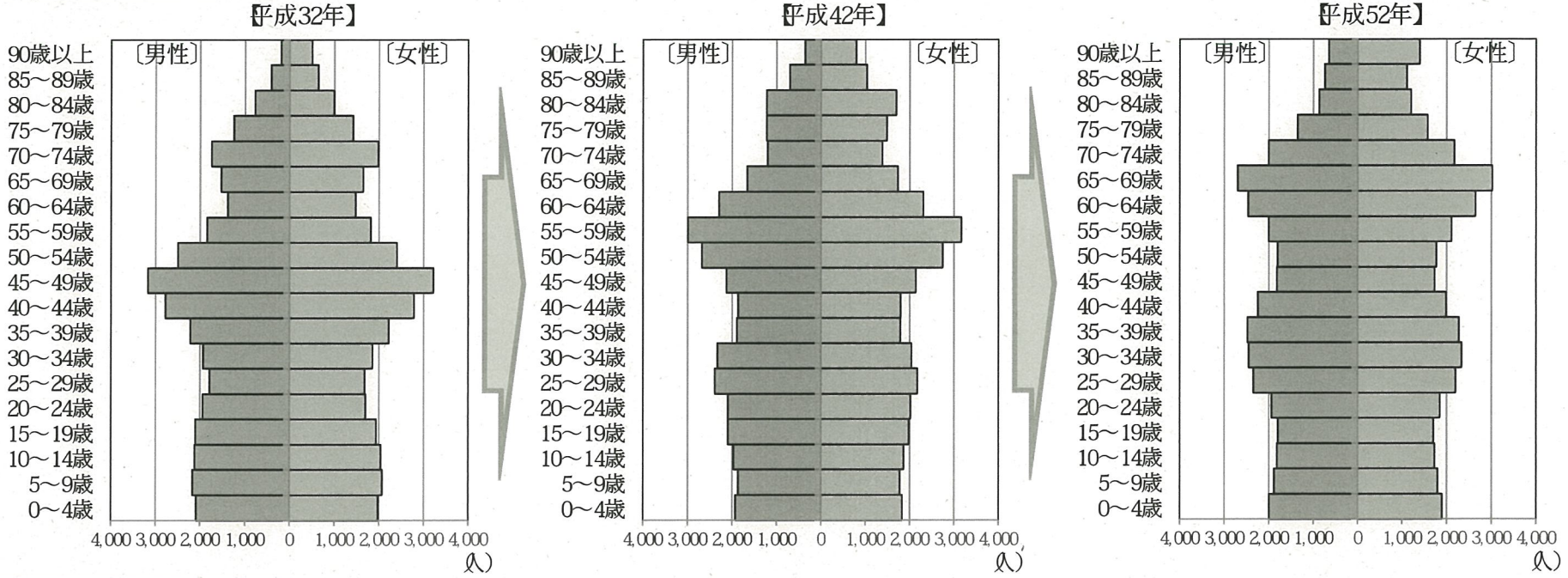
資料：国勢調査

図　栗東市の性別年齢5歳別にみた人口の推移



1. 人口特性

② 性別年齢5歳別人口の推移



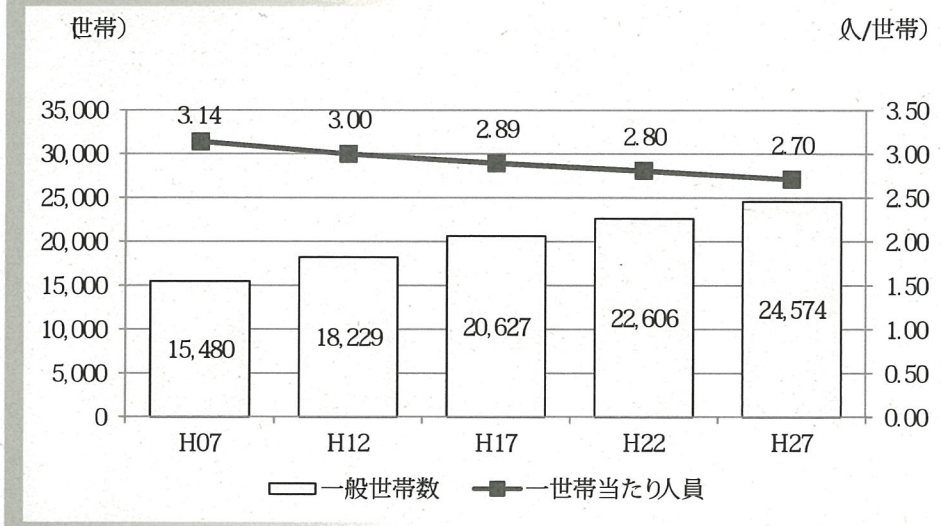
資料：社人研『日本の地域別将来推計人口』

図　栗東市の性別年齢5歳別にみた人口の推移



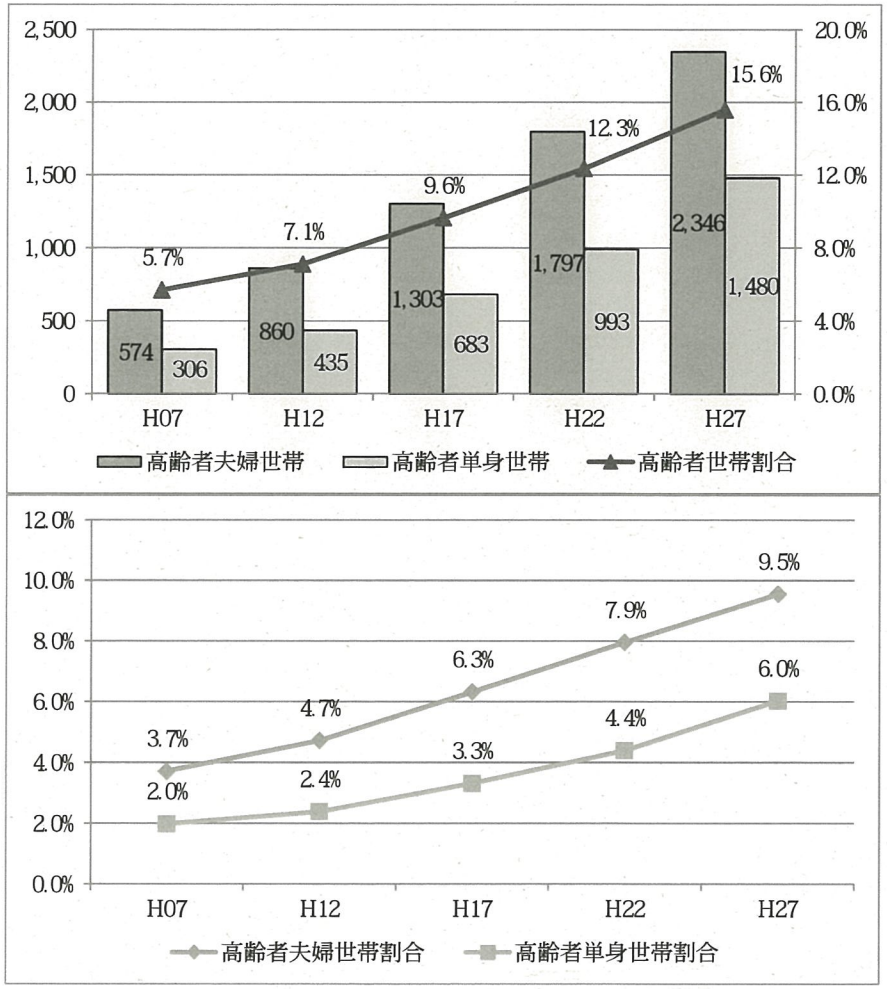
1. 人口特性

③ 世帯数・世帯あたり人員の推移



資料：国勢調査

図　世帯数と世帯あたり人員の推移



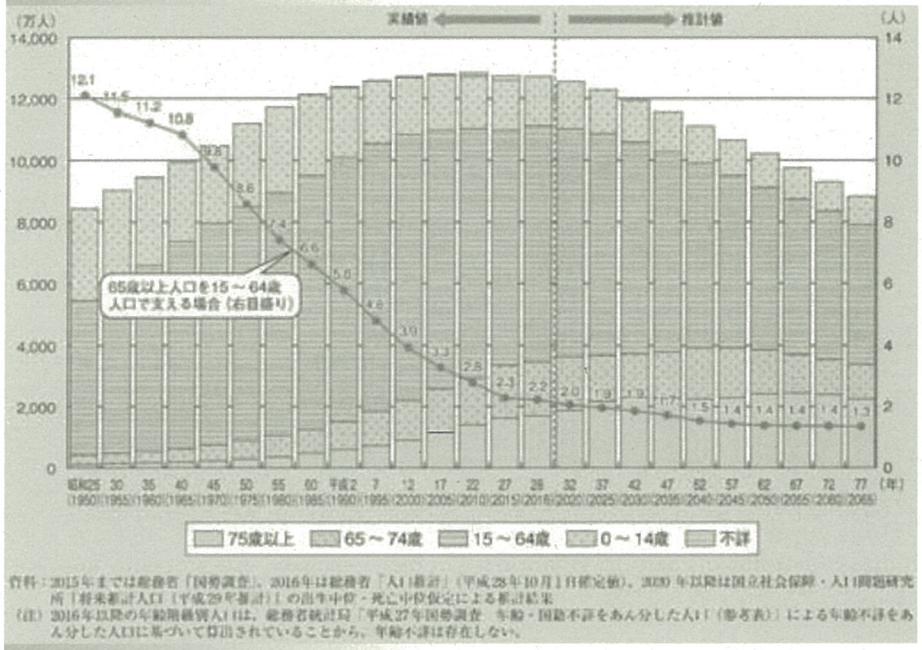
資料：国勢調査

図　高齢者世帯の推移



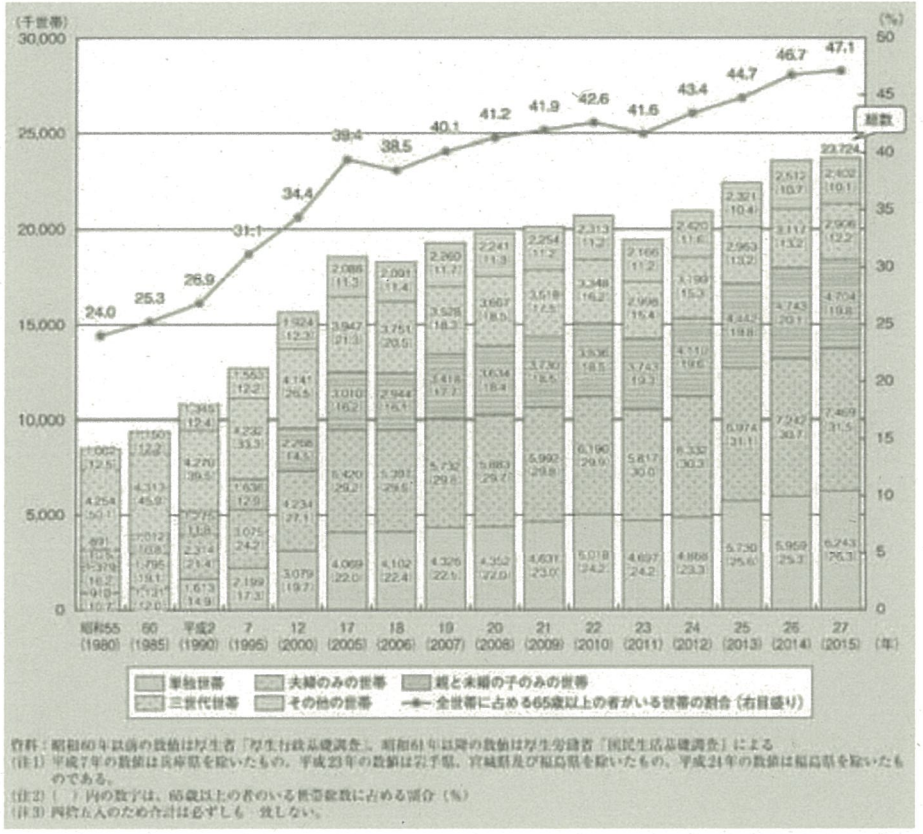
1. 人口特性

③ 世帯数・世帯あたり人員の推移



資料：平成29年度高齢社会白書

参考図　高齢世代人口の比率



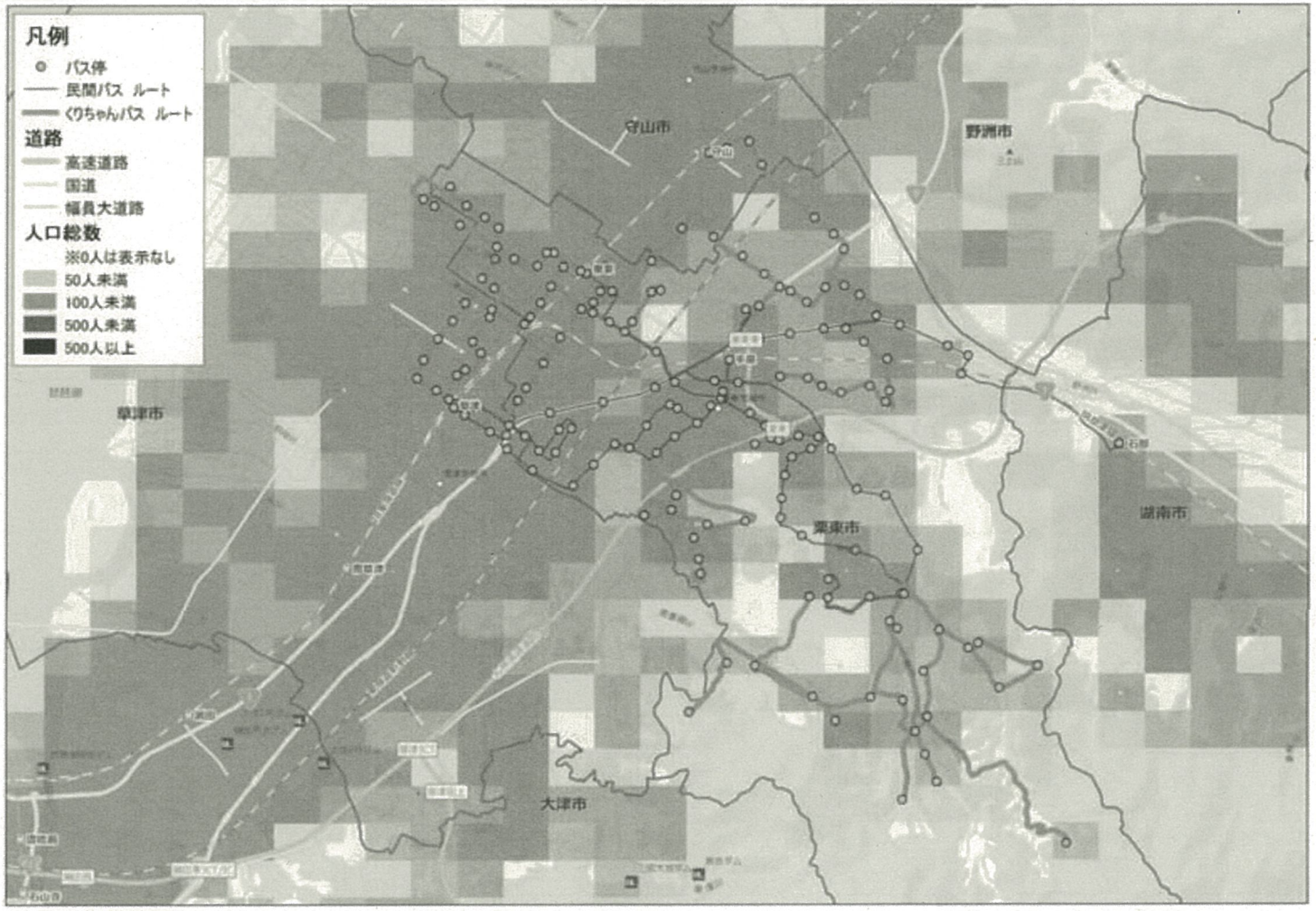
資料：平成29年度高齢社会白書

参考図　高齢者世帯数及び構成割合(世帯構造別)と全世帯に占める高齢者のいる世帯の割合



1. 人口特性

④ 地域別にみた人口特性



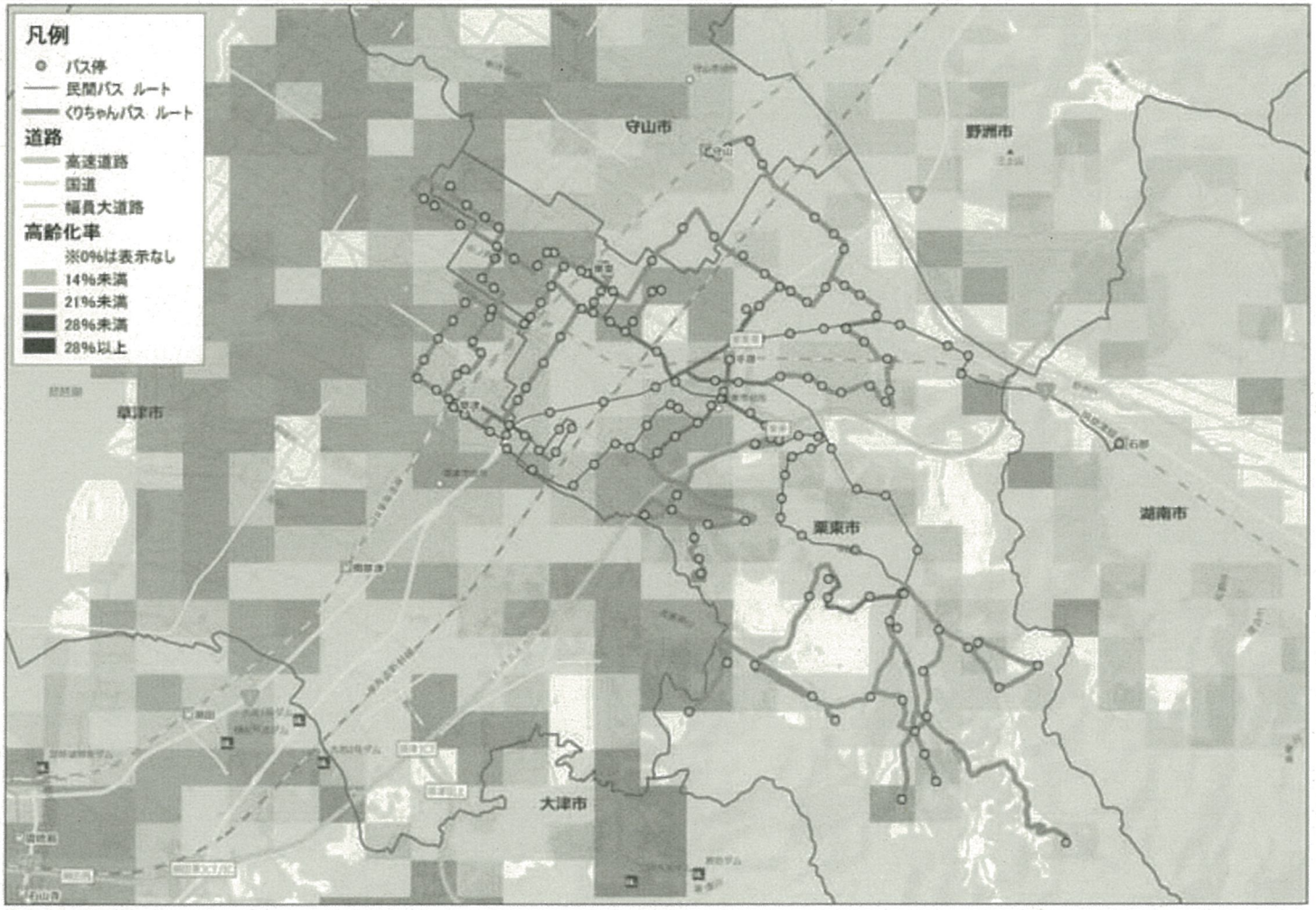
資料：国勢調査(平成27年)

図　500mメッシュ別にみた人口の分布状況



1. 人口特性

④ 地域別にみた人口特性



資料：国勢調査(平成27年)

図　500mメッシュ別にみた高齢化率の状況



1. 人口特性

④ 地域別にみた人口特性



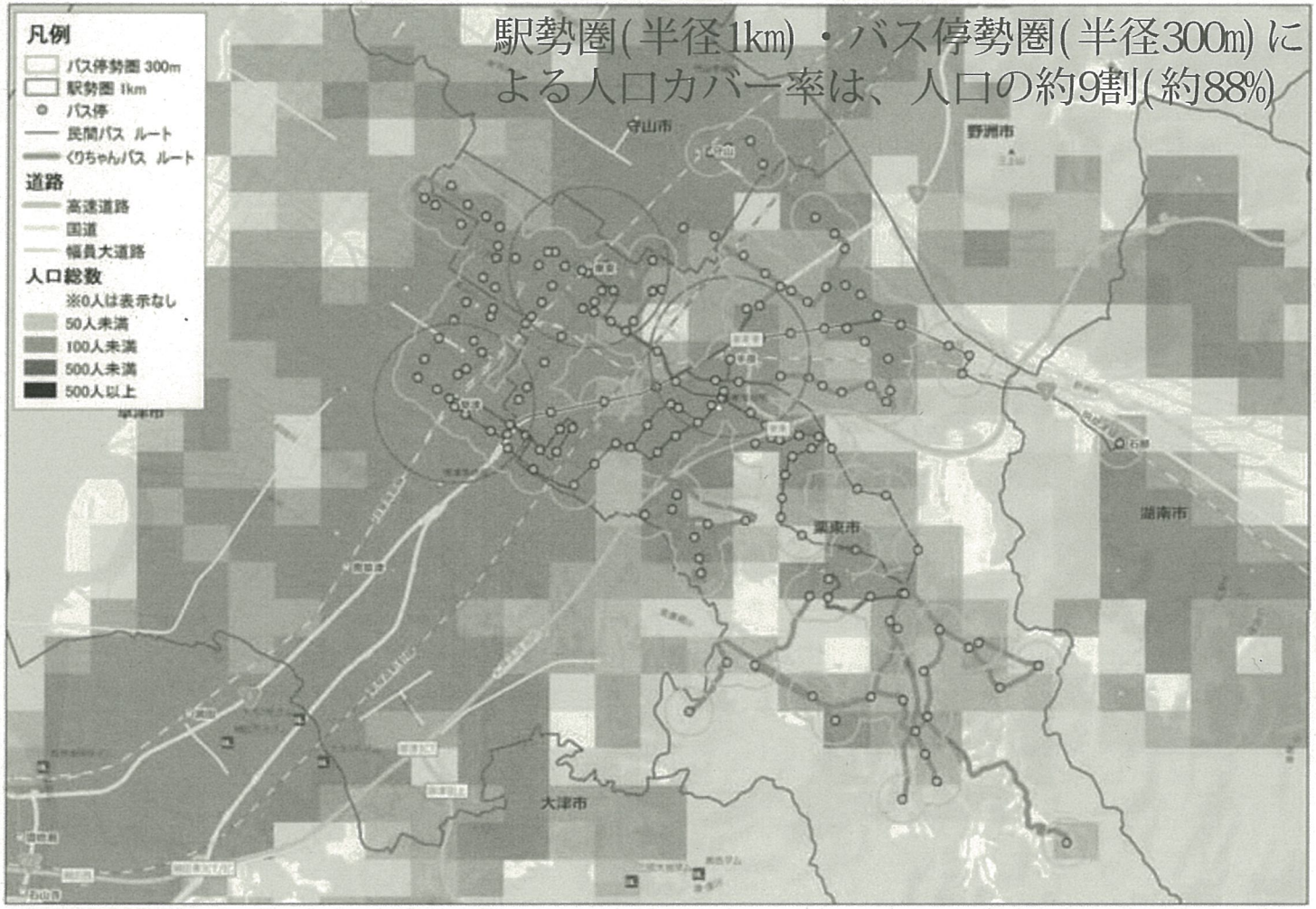
資料：国政局推計(平成29年)

図　平成57年(将来推計値)と平成27年の人口増減率



1. 人口特性

④ 地域別にみた人口特性



資料：国勢調査(平成27年)

参考図　人口の分布と駅勢圏・バス停勢圏との関係



2. 施設の分布状況

① 主な施設分布状況(公的施設)



図　主な施設分布状況(公的施設)



2. 施設の分布状況

② 主な施設分布状況(学校施設)



図　主な施設分布状況(学校施設)



2. 施設の分布状況

③ 主な施設分布状況(社会福祉施設)



図　主な施設分布状況(社会福祉施設)



2. 施設の分布状況

④ 主な施設分布状況(社会教育施設)



図　主な施設分布状況(社会教育施設)

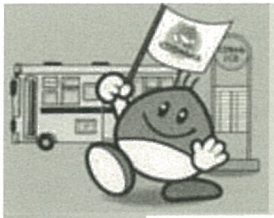


2. 施設の分布状況

⑤ 主な施設分布状況(医療施設)



図　主な施設分布状況(医療施設)



2. 施設の分布状況

⑥ 主な施設分布状況(商業施設)



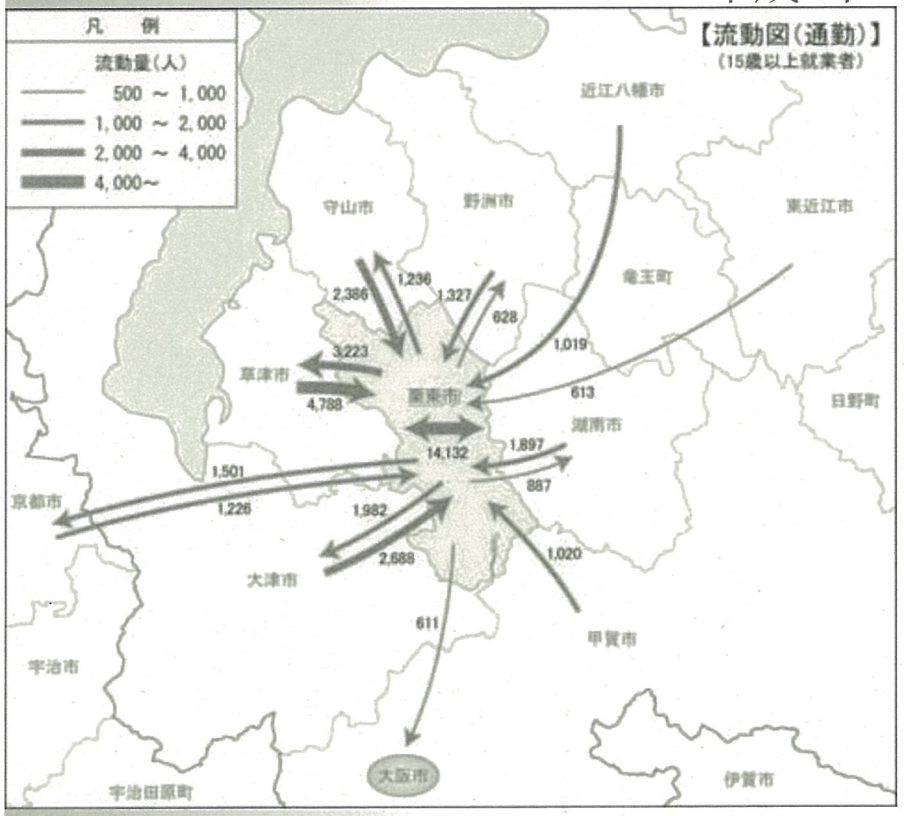
図　主な施設分布状況(商業施設)



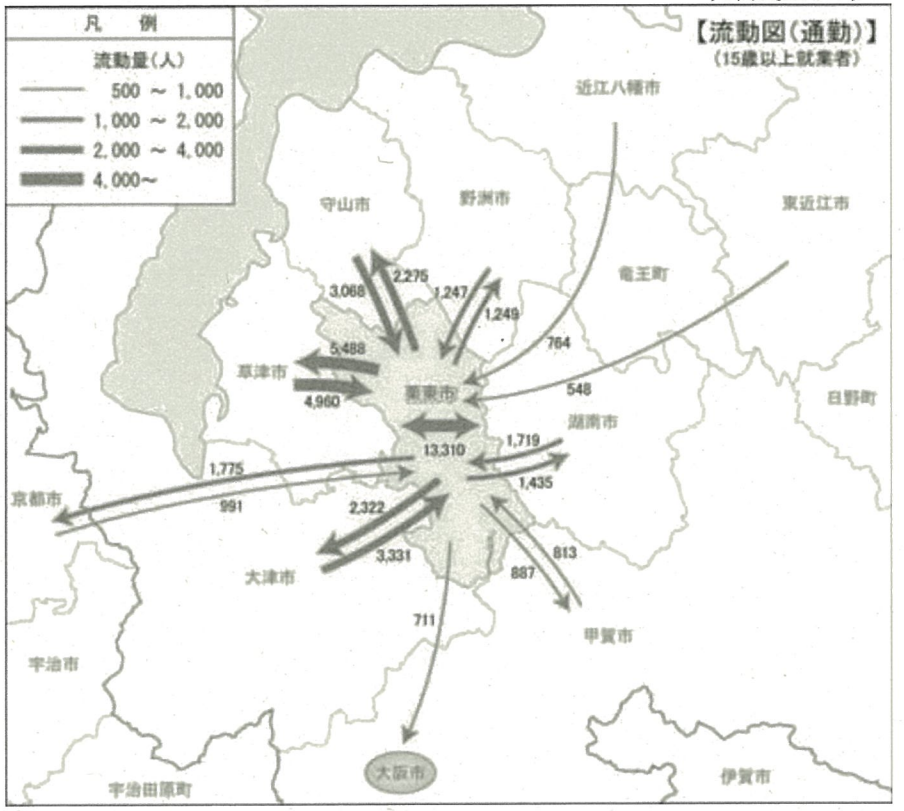
3. 通勤・通学流動

① 通勤による人の動き

平成7年



平成27年



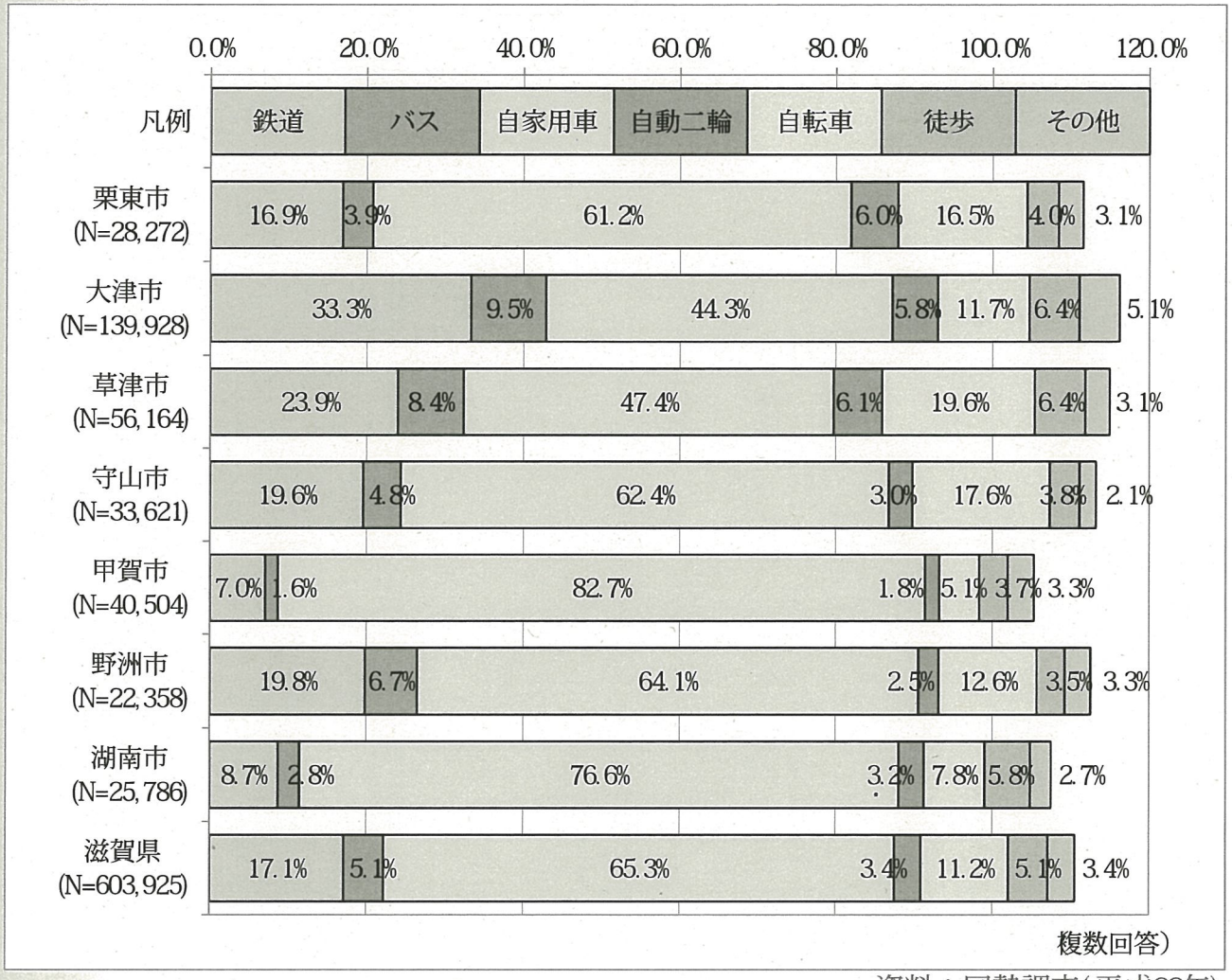
資料：国勢調査(平成7年・平成27年)

図　地域間の通勤の動き(左側：平成7年，右側：平成27年)



3. 通勤・通学流動

① 通勤による人の動き



資料：国勢調査(平成22年)

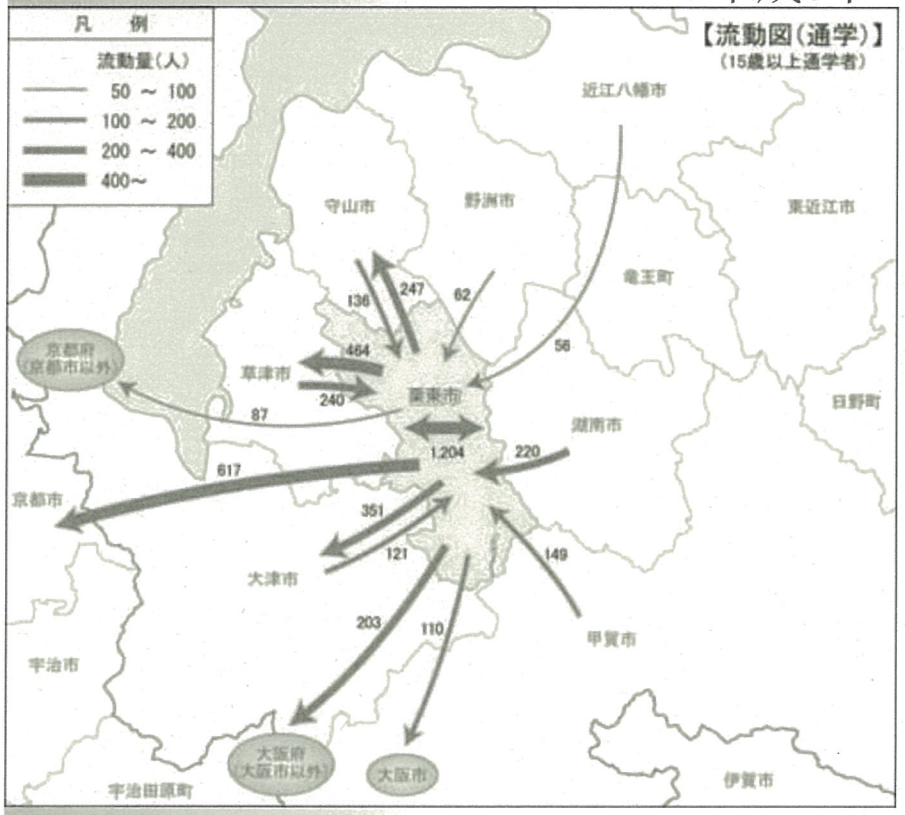
図　通勤時の利用交通手段の割合(15歳以上)



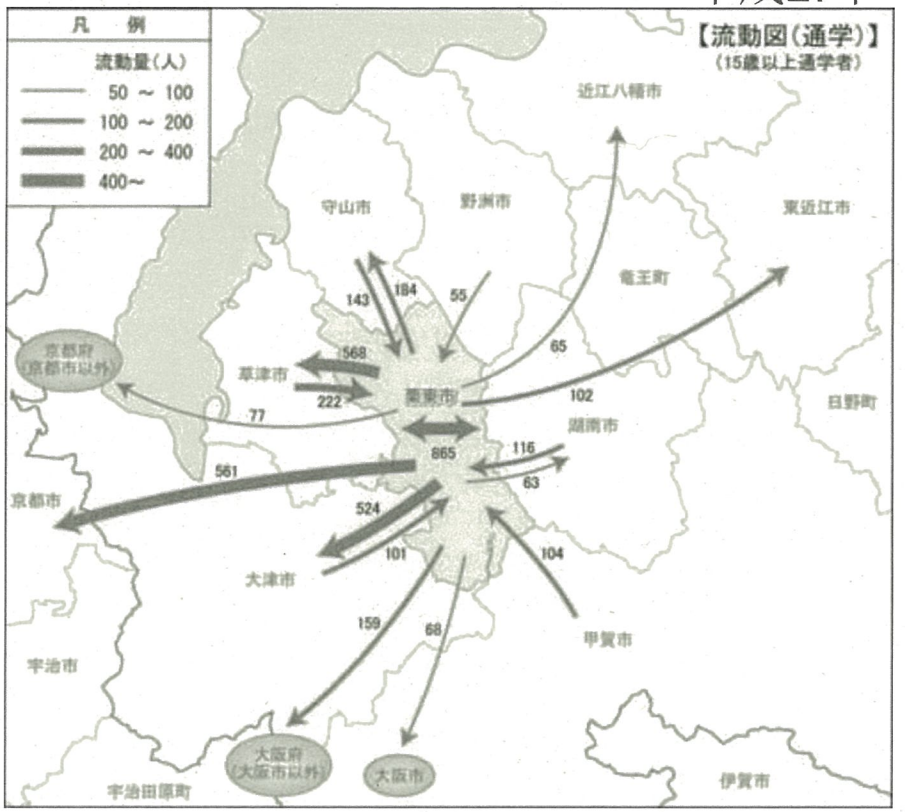
3. 通勤・通学流動

② 通学による人の動き

平成7年



平成27年



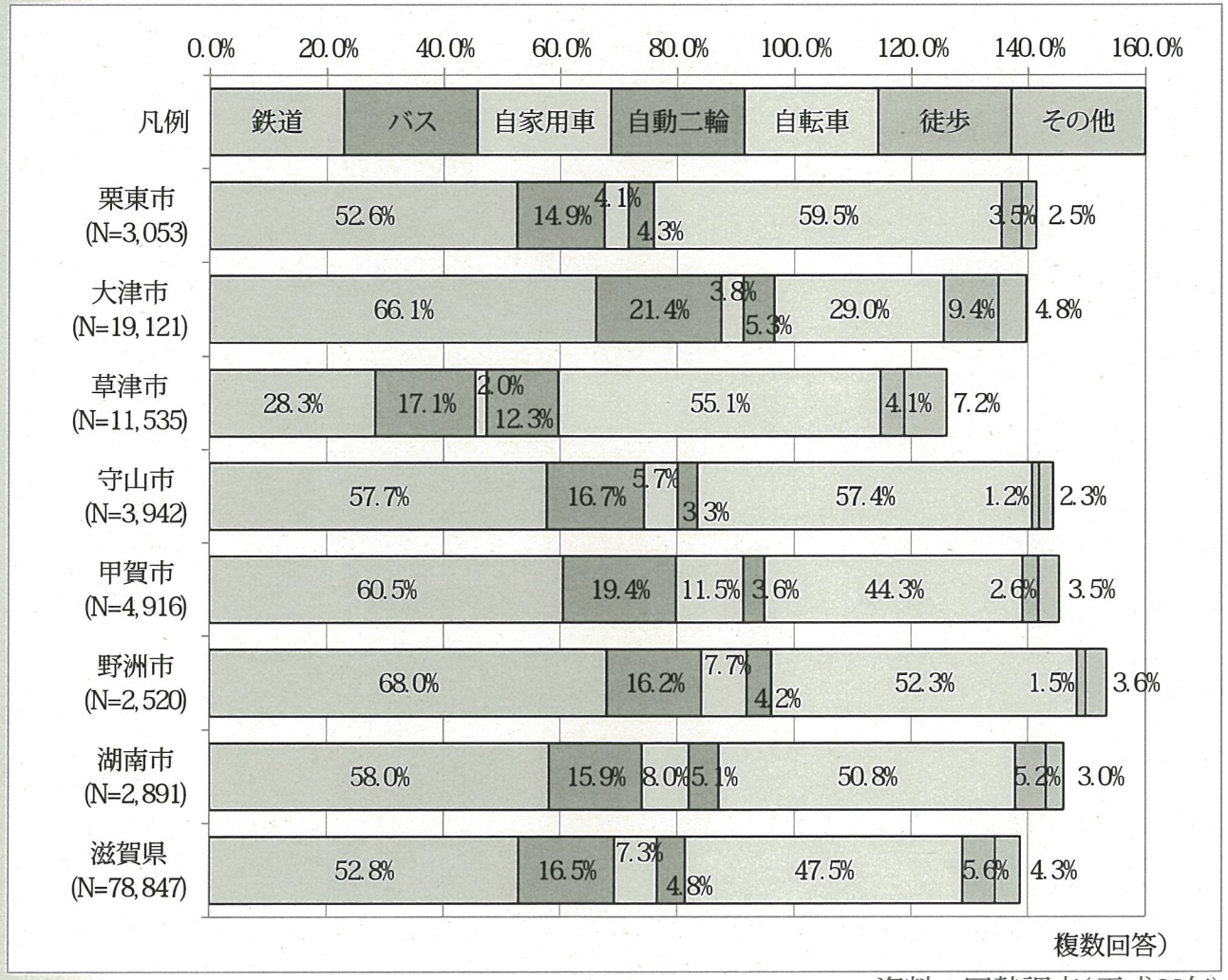
資料：国勢調査(平成7年・平成27年)

図　地域間の通学の動き(左側：平成7年，右側：平成27年)



3. 通勤・通学流動

② 通学による人の動き



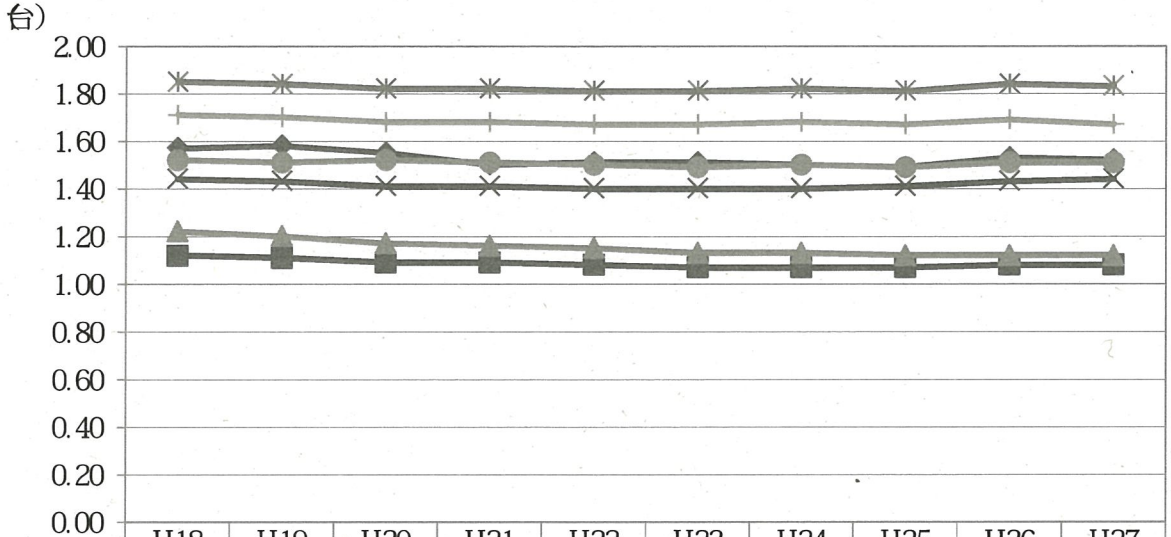
資料：国勢調査(平成22年)

図　通学時の利用交通手段の割合(15歳以上)



4. 自動車交通の現状

① 自動車保有台数等の推移



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
栗東市	1.57	1.58	1.55	1.50	1.51	1.51	1.50	1.49	1.53	1.52
大津市	1.12	1.11	1.09	1.09	1.08	1.07	1.07	1.07	1.08	1.08
草津市	1.22	1.20	1.17	1.16	1.15	1.13	1.13	1.12	1.12	1.12
守山市	1.44	1.43	1.41	1.41	1.40	1.40	1.40	1.41	1.43	1.44
甲賀市	1.85	1.84	1.82	1.82	1.81	1.81	1.82	1.81	1.84	1.83
野洲市	1.52	1.51	1.52	1.51	1.50	1.49	1.50	1.49	1.51	1.51
湖南市	1.71	1.70	1.68	1.68	1.67	1.67	1.68	1.67	1.69	1.67

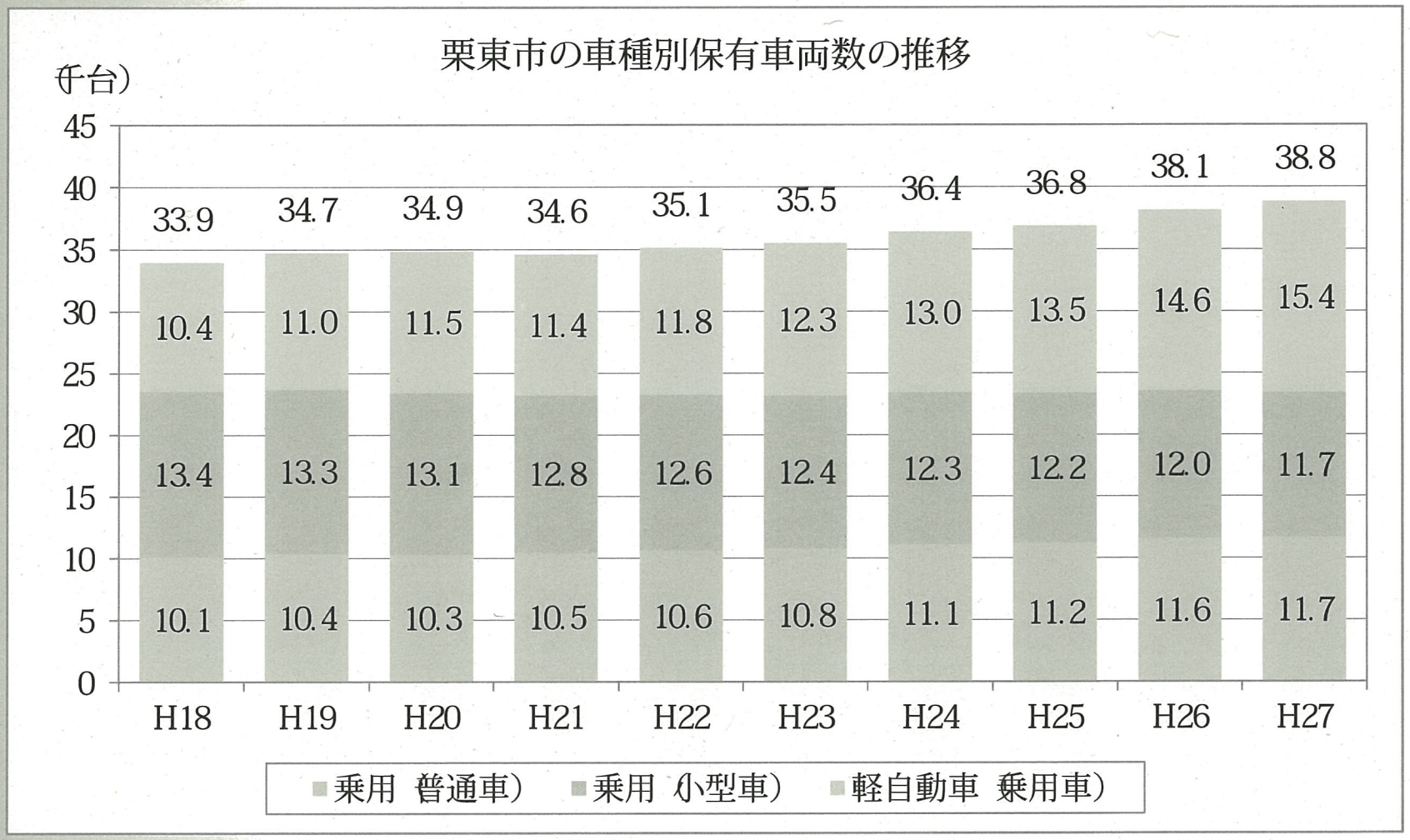
資料：地域経済総覧

図　世帯あたり乗用車保有台数の推移(軽乗用車含む)



4. 自動車交通の現状

② 車種別保有台数の推移



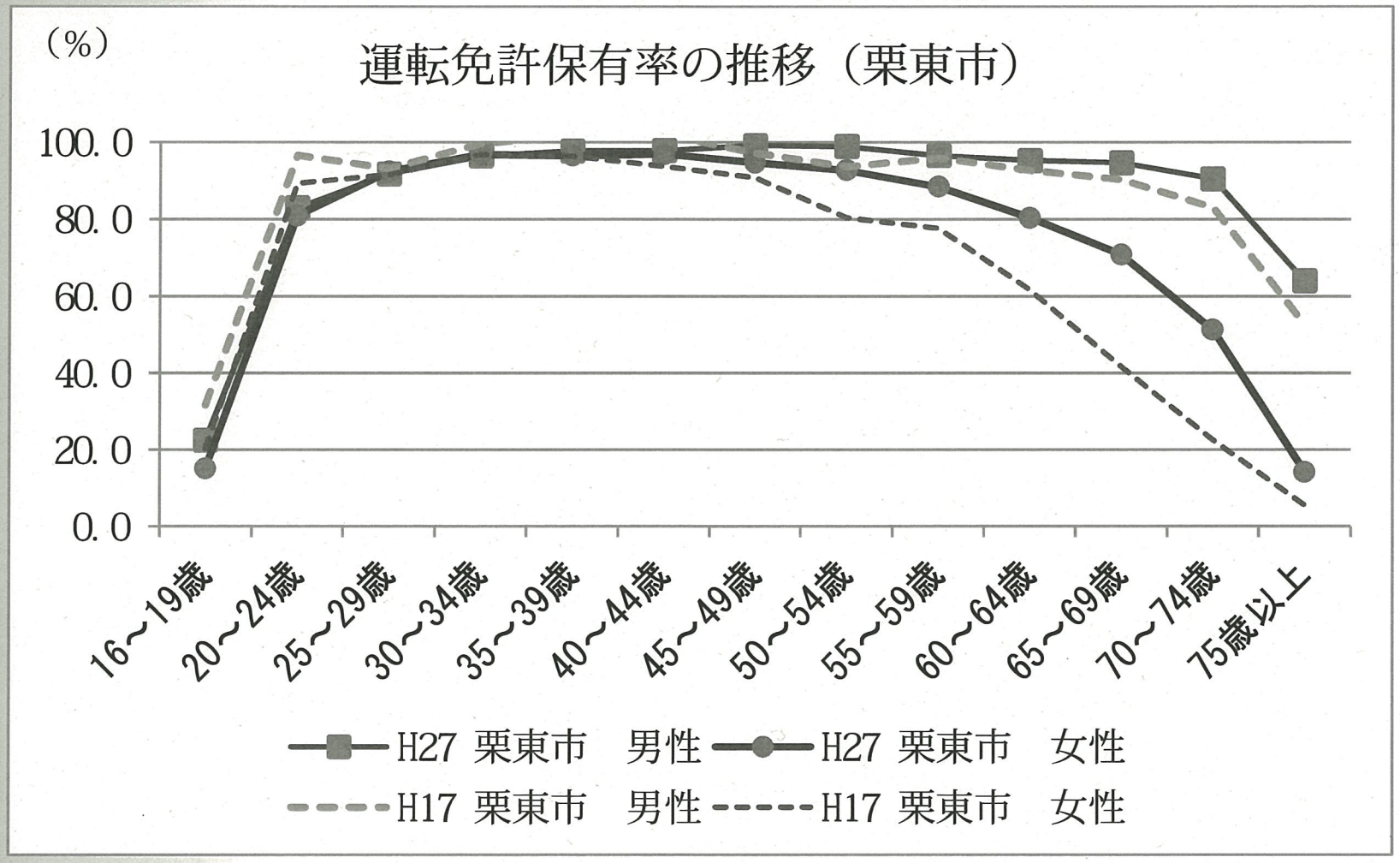
資料：地域経済総覧

図　栗東市の車種別保有台数の推移



4. 自動車交通の現状

③ 年齢階層別運転免許保有率の推移



資料：滋賀県警

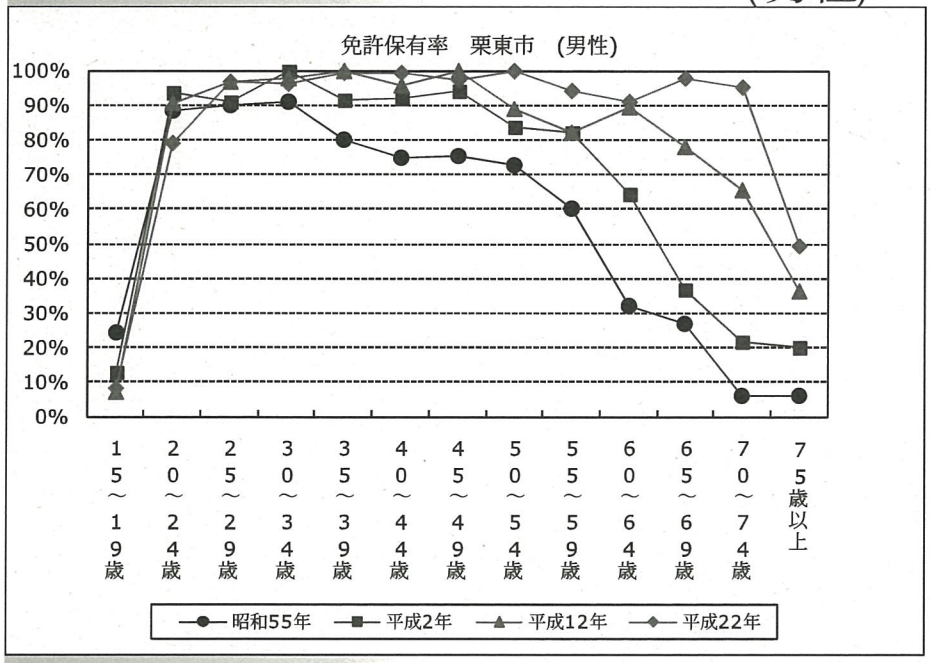
図　性別年齢階層別にみた運転免許保有率の推移



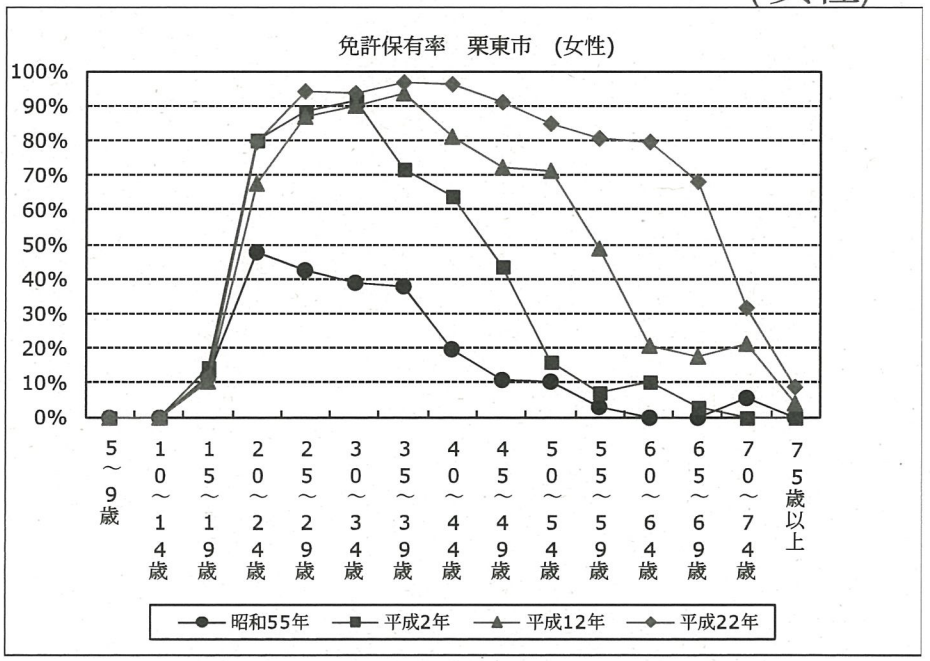
4. 自動車交通の現状

③ 年齢階層別運転免許保有率の推移

(男性)



(女性)



資料：近畿圏パーソントリップ調査

参考図　性別年齢階層別にみた運転免許保有率の推移



5. 人の動き

① 目的別にみた人の動き

【平日】

凡例	出勤	登校	自由	業務	帰宅	千ﾄﾘｯﾌﾟｴﾝﾄﾞ/日 ( )は構成比(%)
栗東市	47.6 (15.6)	19.7 (6.4)	76.7 (25.1)	34.9 (11.4)	126.6 (41.4)	305.5 (100.0)
草津市	95.5 (13.8)	49.2 (7.1)	200.7 (29.1)	63.9 (9.3)	280.7 (40.7)	690.1 (100.0)
守山市	45.9 (13.5)	23.6 (6.9)	97.7 (28.8)	31.8 (9.4)	140.9 (41.5)	339.8 (100.0)
大津市	194.6 (13.5)	104.4 (7.2)	417.3 (28.9)	130.6 (9.0)	597.9 (41.4)	1,444.9 (100.0)
湖南市	39.6 (17.5)	15.1 (6.7)	54.0 (23.8)	20.9 (9.2)	97.2 (42.9)	226.8 (100.0)
野洲市	36.0 (16.0)	11.9 (5.3)	60.6 (27.0)	23.0 (10.2)	93.4 (41.5)	224.8 (100.0)
甲賀市	64.6 (14.9)	25.2 (5.8)	116.6 (26.9)	49.5 (11.4)	176.8 (40.9)	432.6 (100.0)
地域計	523.8 (14.3)	249.0 (6.8)	1,023.6 (27.9)	354.5 (9.7)	1,513.5 (41.3)	3,664.4 (100.0)
滋賀県 その他地域	402.5 (14.7)	166.4 (6.1)	722.8 (26.4)	318.3 (11.6)	1,125.9 (41.1)	2,736.1 (100.0)
滋賀県 計	926.3 (14.5)	415.4 (6.5)	1,746.4 (27.3)	672.9 (10.5)	2,639.3 (41.2)	6,400.5 (100.0)
近畿圏 計	13,242.0 (14.7)	5,825.8 (6.5)	25,370.9 (28.1)	8,625.7 (9.6)	37,228.2 (41.2)	90,294.2 (100.0)

【休日】

凡例	出勤	登校	自由	業務	帰宅	千ﾄﾘｯﾌﾟｴﾝﾄﾞ/日 ( )は構成比(%)
栗東市	10.5 (4.8)	1.4 (0.6)	106.8 (49.0)	9.8 (4.5)	89.6 (41.1)	218.1 (100.0)
草津市	20.5 (3.6)	7.4 (1.3)	290.3 (51.3)	20.8 (3.7)	226.7 (40.1)	565.7 (100.0)
守山市	10.1 (3.8)	2.3 (0.8)	132.3 (49.7)	12.2 (4.6)	109.4 (41.1)	266.2 (100.0)
大津市	43.2 (4.0)	13.0 (1.2)	539.8 (49.9)	41.6 (3.8)	444.5 (41.1)	1,082.3 (100.0)
湖南市	7.1 (4.7)	1.5 (1.0)	73.1 (48.2)	7.2 (4.8)	62.8 (41.4)	151.7 (100.0)
野洲市	6.9 (4.1)	1.1 (0.6)	81.8 (48.6)	8.1 (4.8)	70.4 (41.8)	168.3 (100.0)
甲賀市	13.7 (4.0)	2.8 (0.8)	171.2 (49.8)	16.5 (4.8)	139.7 (40.6)	343.8 (100.0)
地域計	111.9 (4.0)	29.4 (1.1)	1,395.4 (49.9)	116.2 (4.2)	1,143.1 (40.9)	2,796.2 (100.0)
滋賀県 その他地域	81.0 (3.8)	17.1 (0.8)	1,044.5 (49.0)	123.3 (5.8)	866.0 (40.6)	2,132.0 (100.0)
滋賀県 計	192.9 (3.9)	46.5 (0.9)	2,439.9 (49.5)	239.6 (4.9)	2,009.1 (40.8)	4,928.2 (100.0)
近畿圏 計	2,733.9 (4.1)	660.2 (1.0)	32,988.9 (49.7)	2,700.7 (4.1)	27,266.6 (41.1)	66,352.5 (100.0)

資料：近畿圏パーソントリップ調査

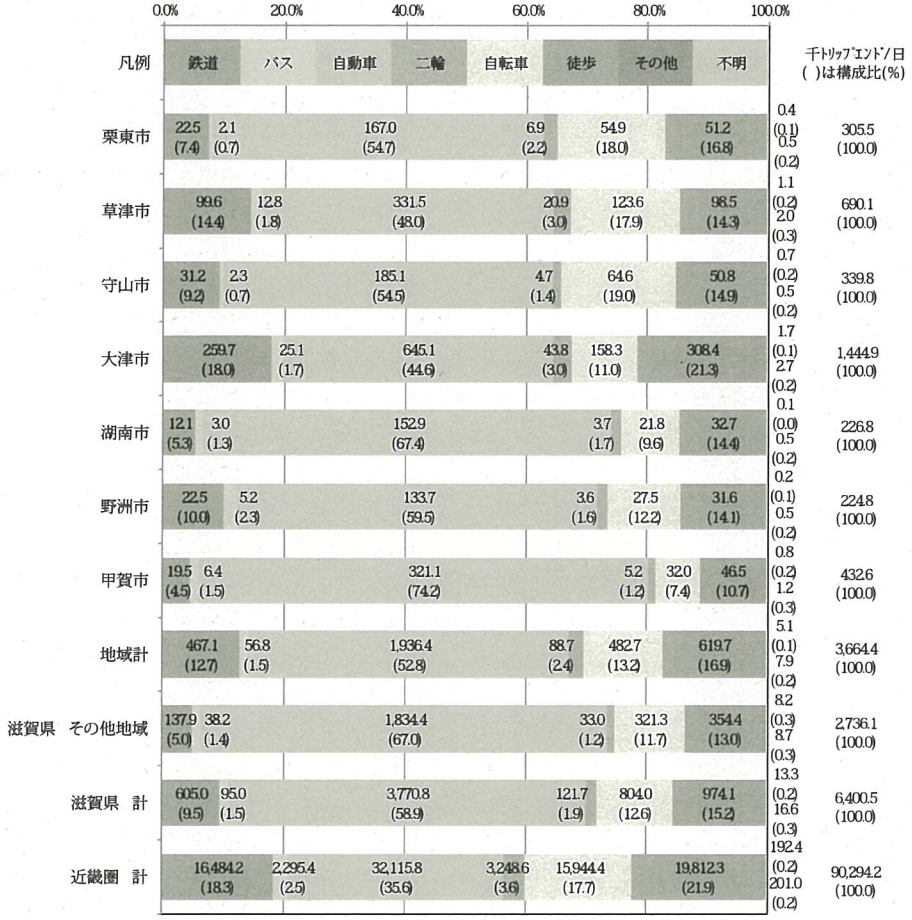
図　地域別の目的別にみた人の動き



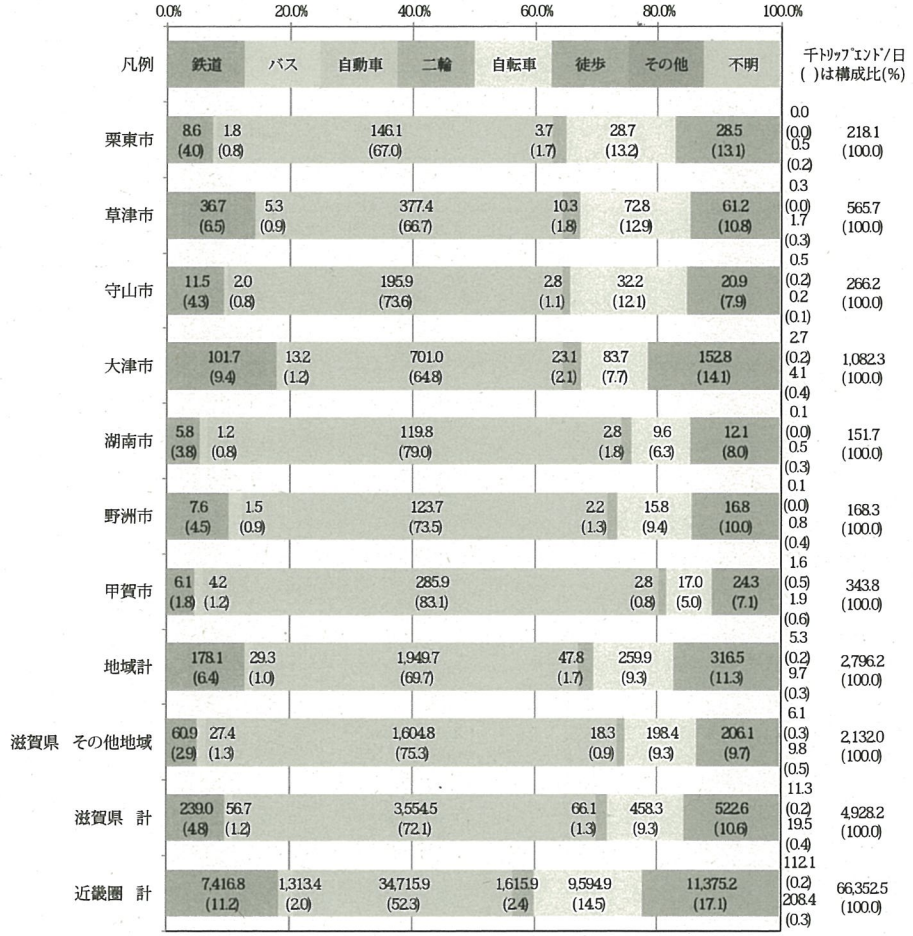
5. 人の動き

② 代表交通手段別にみた人の動き

【平日】



【休日】



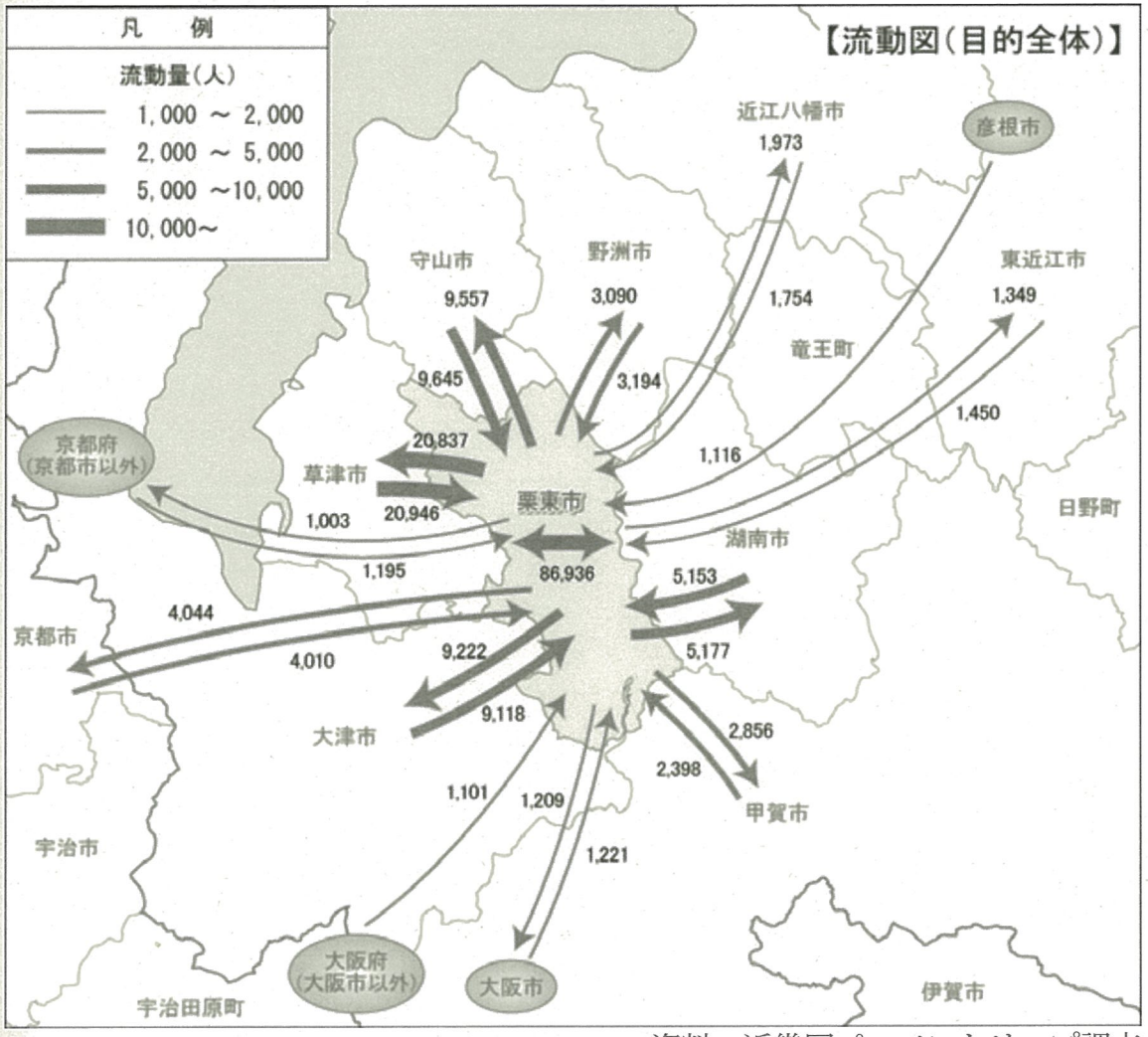
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　地域別の代表交通手段別にみた人の動き



5. 人の動き

③ 栗東市発着の人の動き



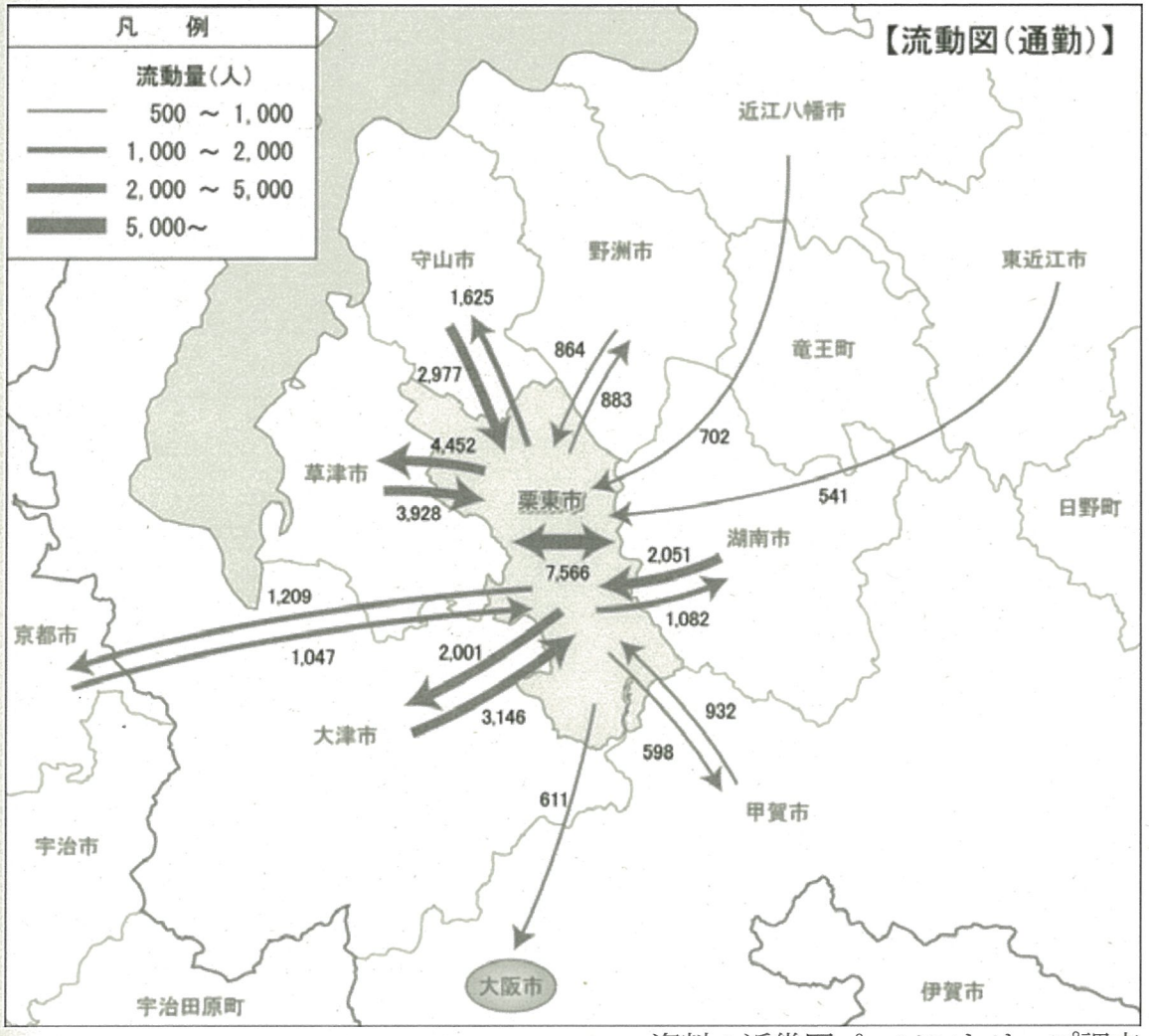
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　栗東市発着の人の動き



5. 人の動き

③ 栗東市発着の人の動き



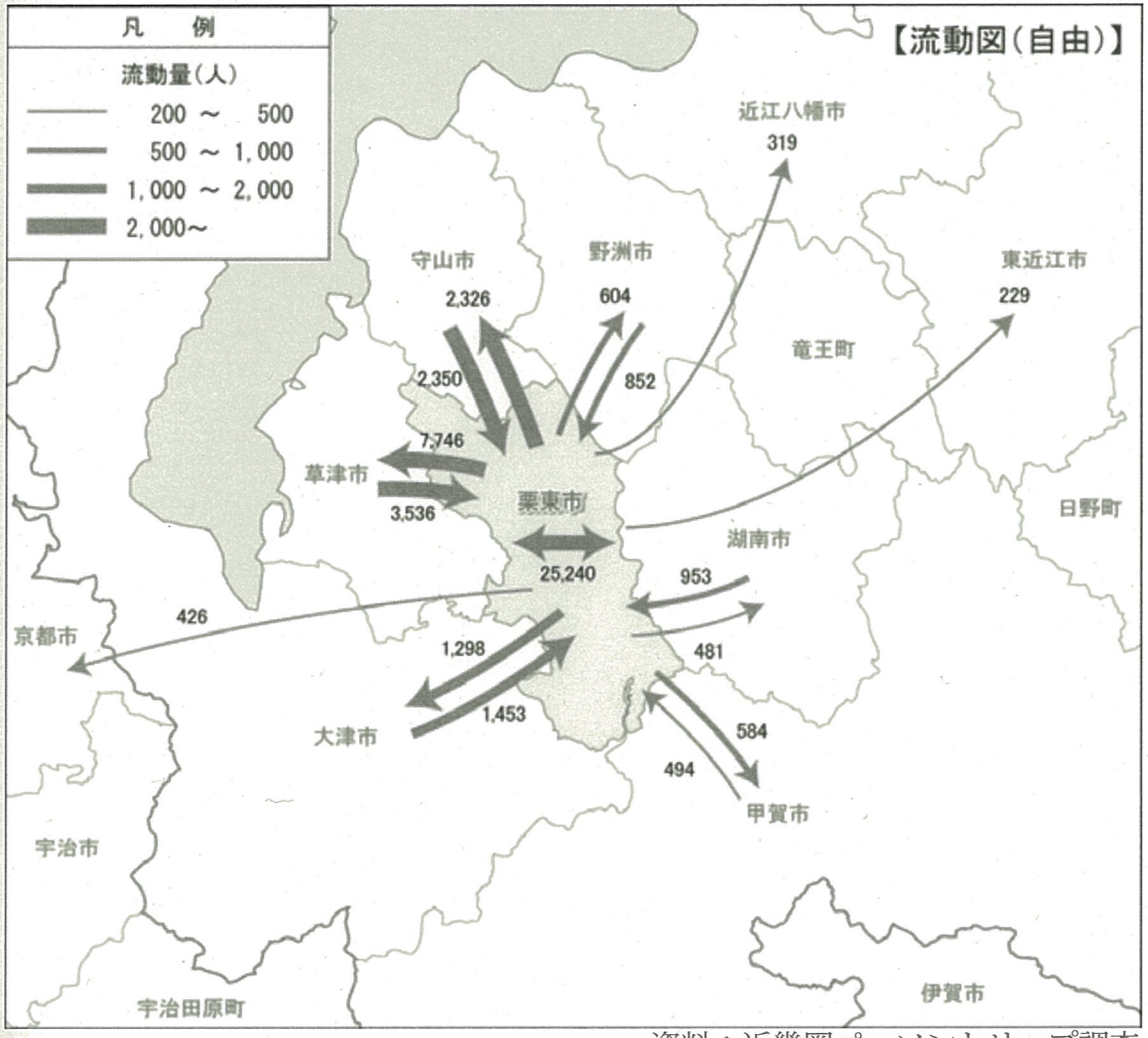
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　栗東市発着の目的別にみた人の動き(通勤)



5. 人の動き

③ 栗東市発着の人の動き



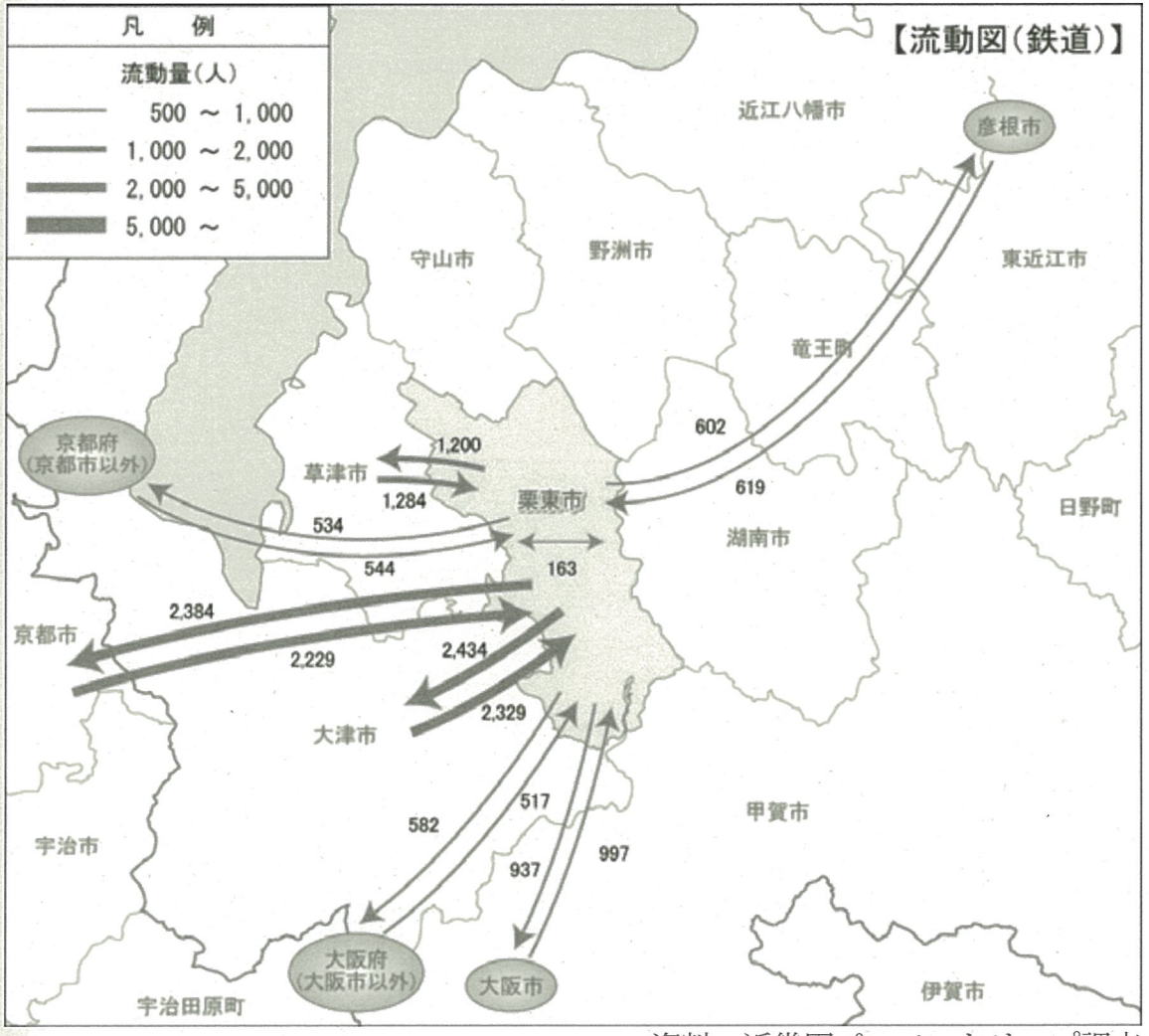
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　栗東市発着の目的別にみた人の動き(自由)



5. 人の動き

③ 栗東市発着の人の動き



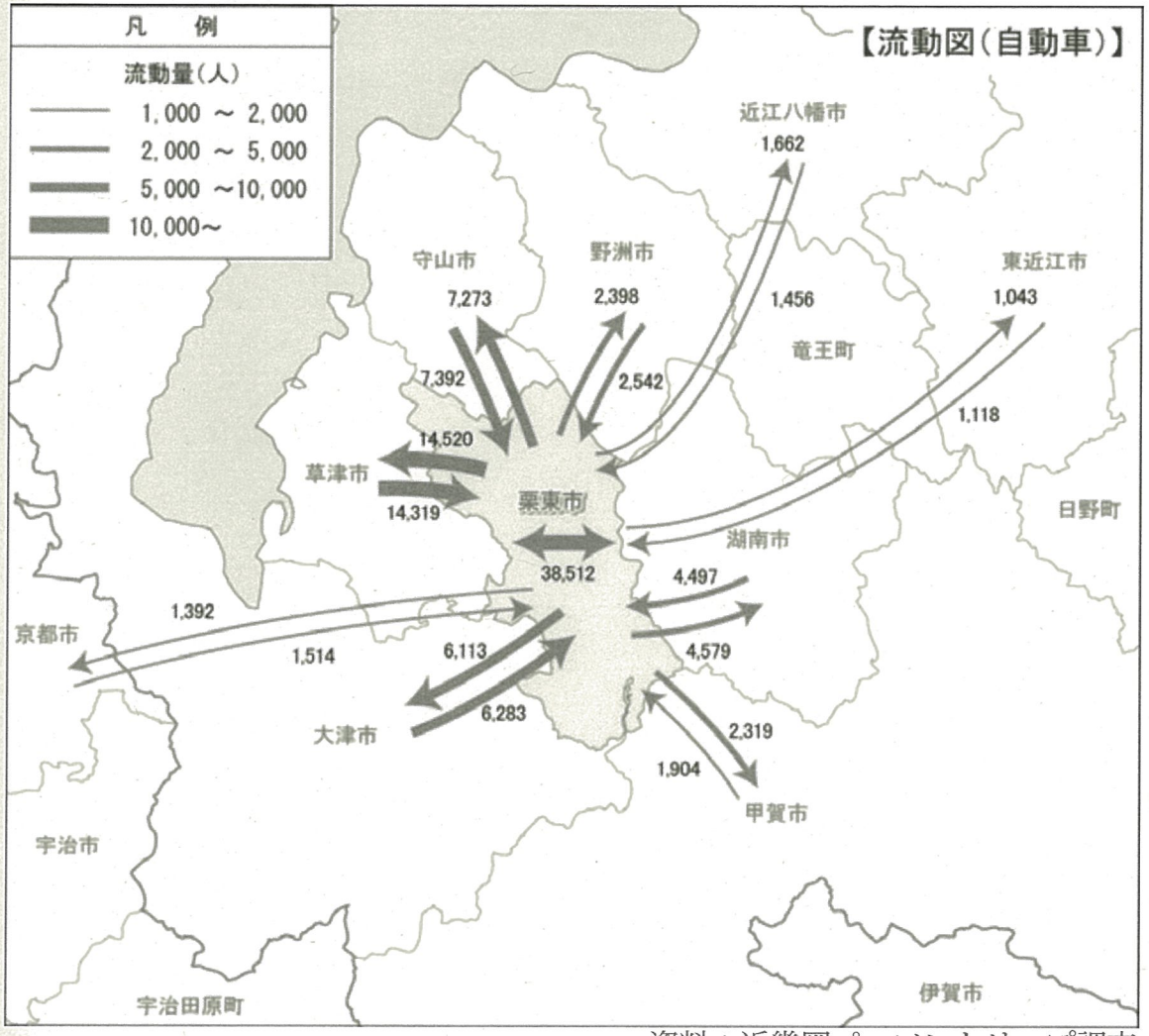
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　栗東市発着の代表交通手段別にみた人の動き(鉄道)



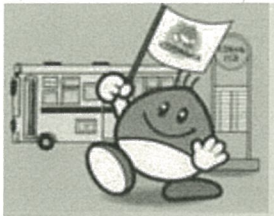
5. 人の動き

③ 栗東市発着の人の動き



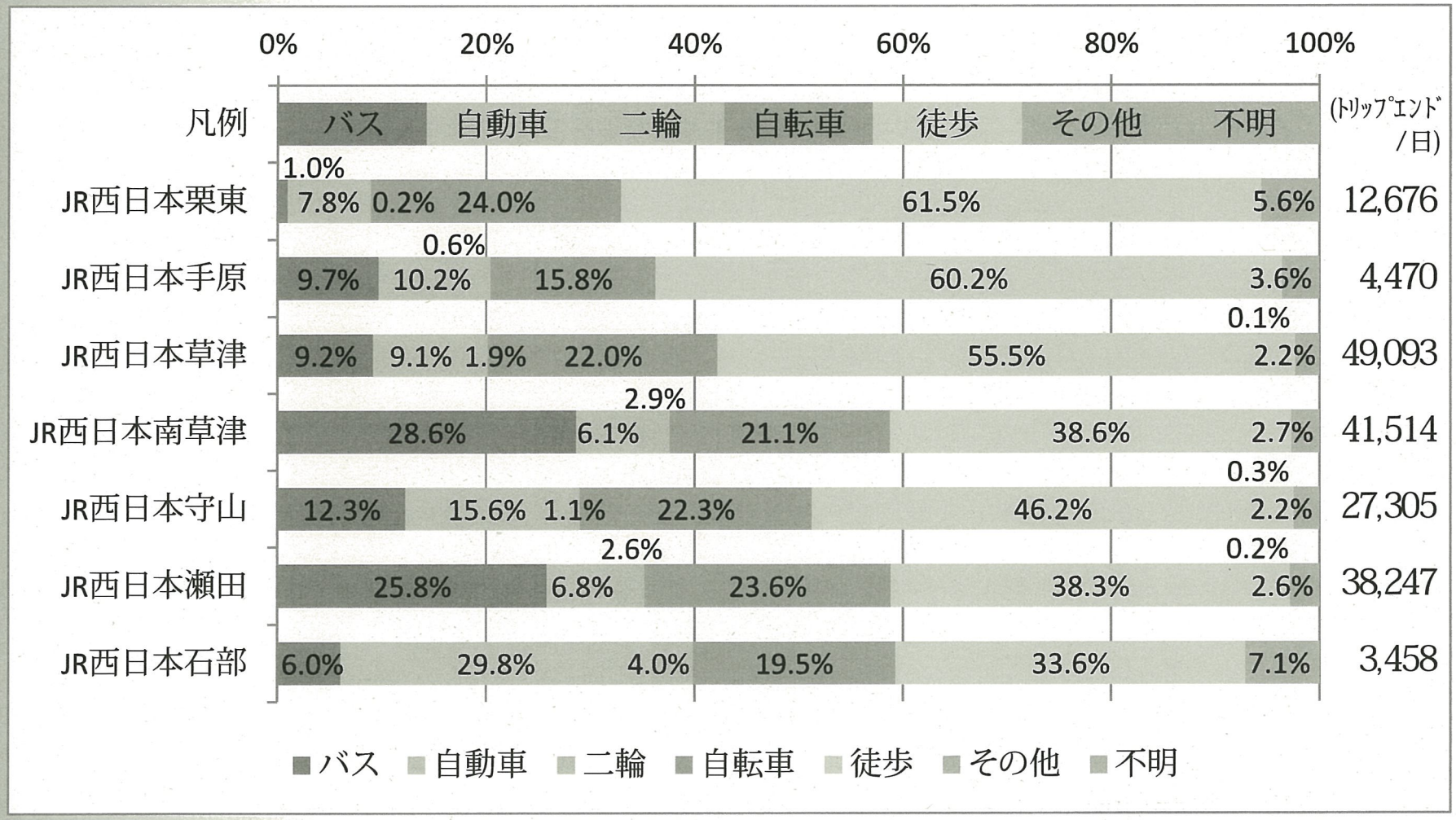
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　栗東市発着の代表交通手段別にみた人の動き(自動車)



5. 人の動き

④ 鉄道駅別にみた端末交通手段



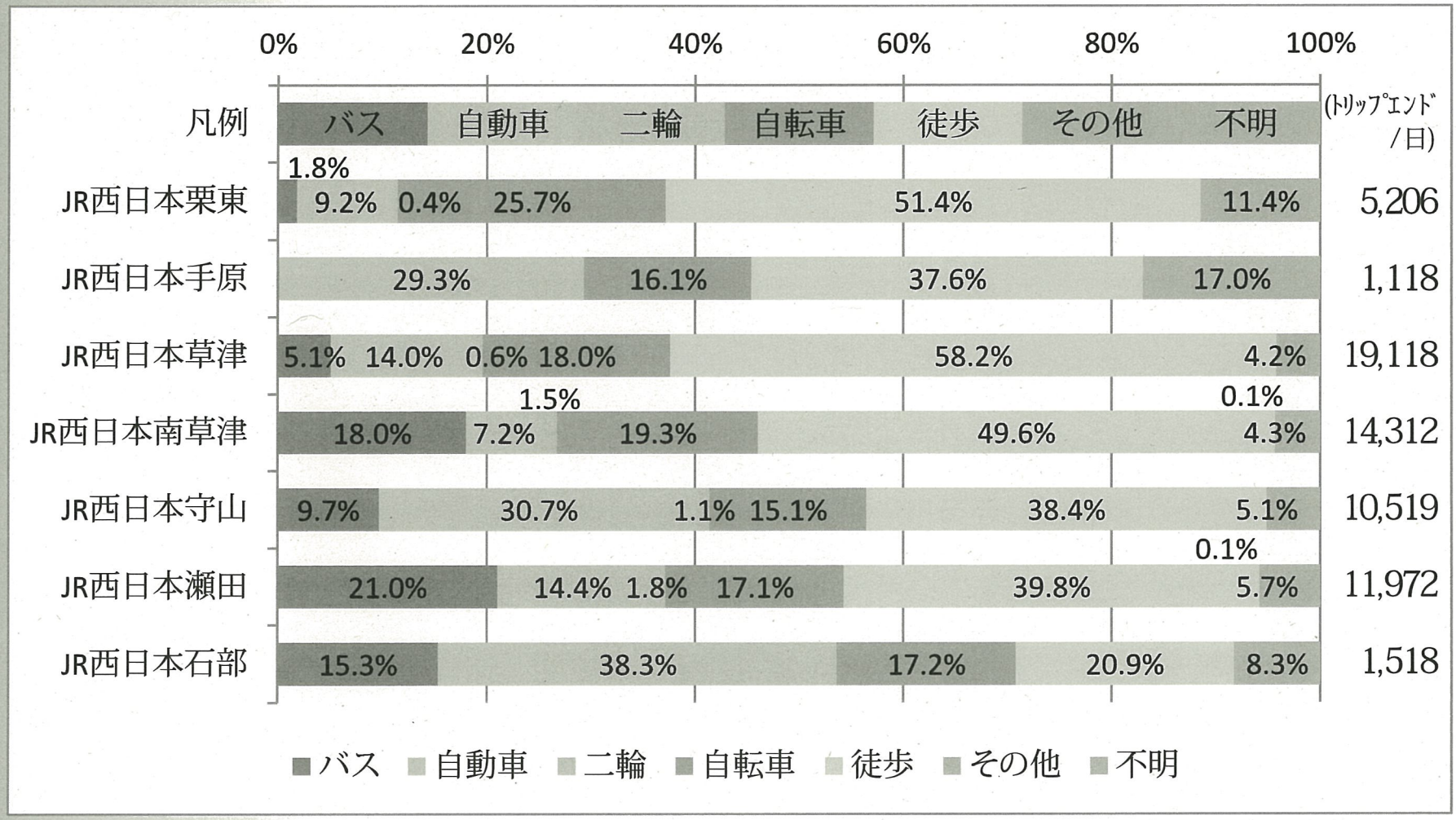
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　鉄道駅別にみた端末交通手段構成(平日)



5. 人の動き

④ 鉄道駅別にみた端末交通手段



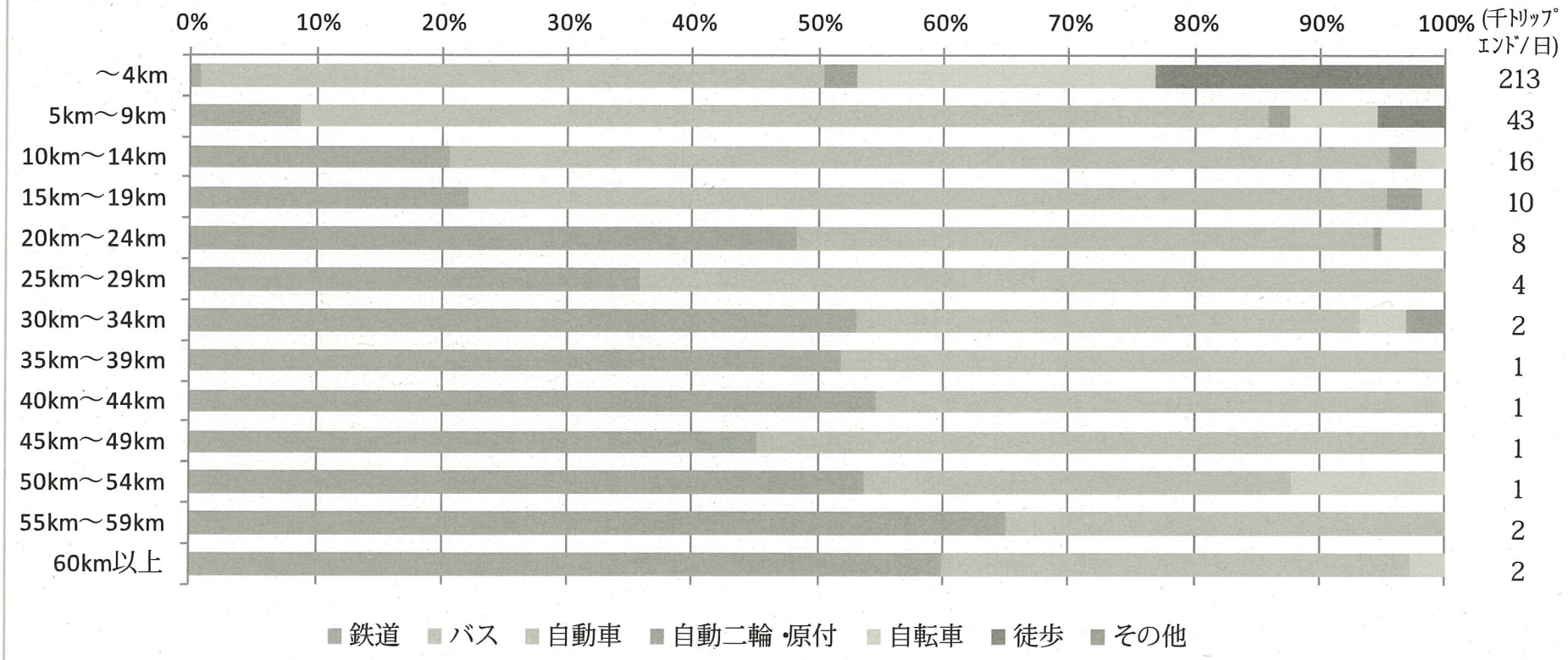
資料：近畿圏パーソントリップ調査

図　鉄道駅別にみた端末交通手段構成(休日)



5. 人の動き

⑤ 総トリップ長と代表交通手段の関係



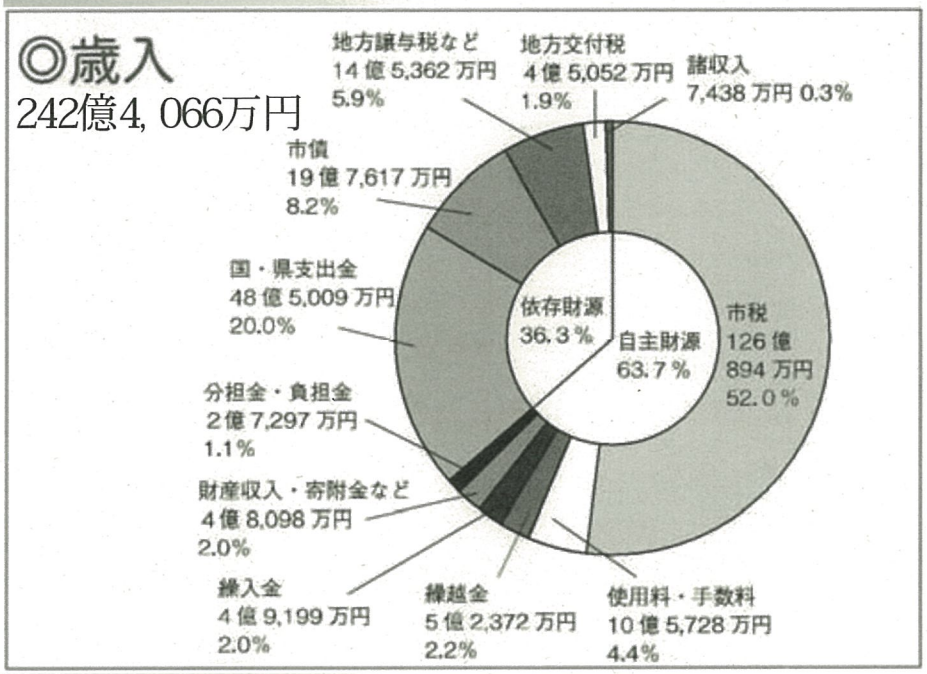
資料：近畿圏パーソントリップ調査

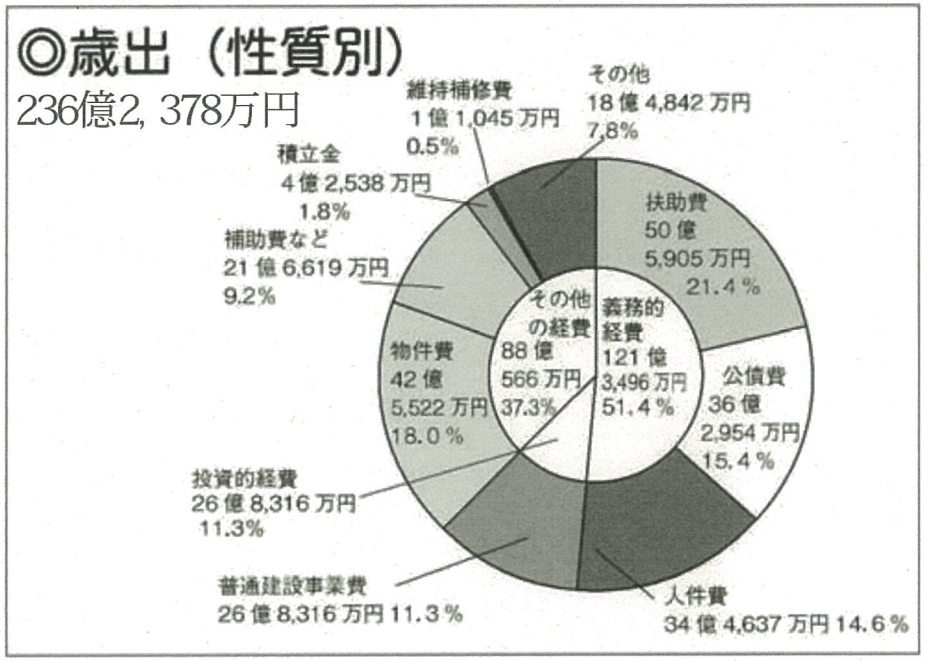
図　総トリップ長と代表交通手段の関係



6. 財政の現状と将来見通し

① 財政の現状





平成28年度末の

- 基金残高　　：総額　50億5,284万円 → 市民1人あたり　74,025円
- 市債(借金)残高：総額659億2,103万円 → 市民1人あたり965,749円

⇒ *引き続きこれまでの改善効果を維持し、今後も財政運営基本方針を遵守する中で、市債発行の抑制など支出縮減への取組みを継続して行い、財政の健全化を目指します。*

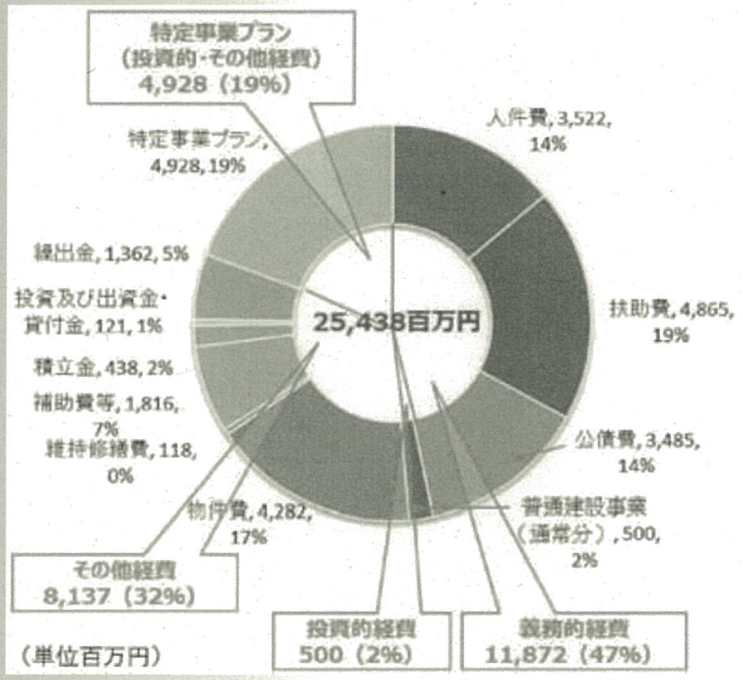
出典：広報りっとう　2017年12月号

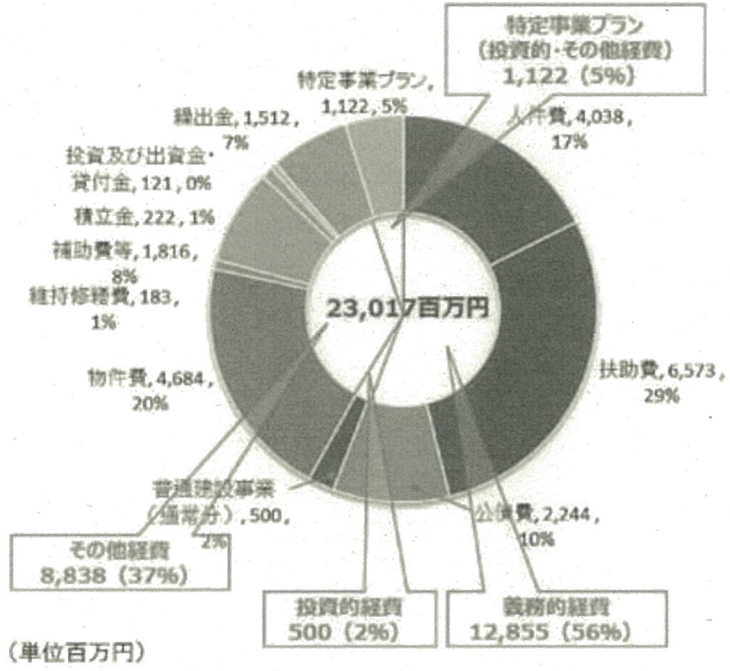
図　平成28年度決算状況(左側：歳入，右側：歳出)



6. 財政の現状と将来見通し

② 財政の将来見通し





平成27年度中長期財政見通しによると、

- 財政規模は、平成28年度：約254億円 → 平成37年度：約230億円　※10年後に約1割減
- 義務的経費(人件費・扶助費・公債費) →
  平成28年度(約119億年)から平成37年度(約129億円)へと約1割増(歳出の過半を占める)

⇒ *今後予測される人口減少・高齢化等の構造変化は、行財政運営に大きく影響を及ぼすことが予想されるため、あり方を大きく見直す必要があることを認識する必要性あり*

出典：平成27年度中長期財政見通し(栗東市)

図　財政見通し(左側：平成28年度，右側：平成37年度)



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

① 第五次栗東市総合計画後期基本計画(H27. 3)

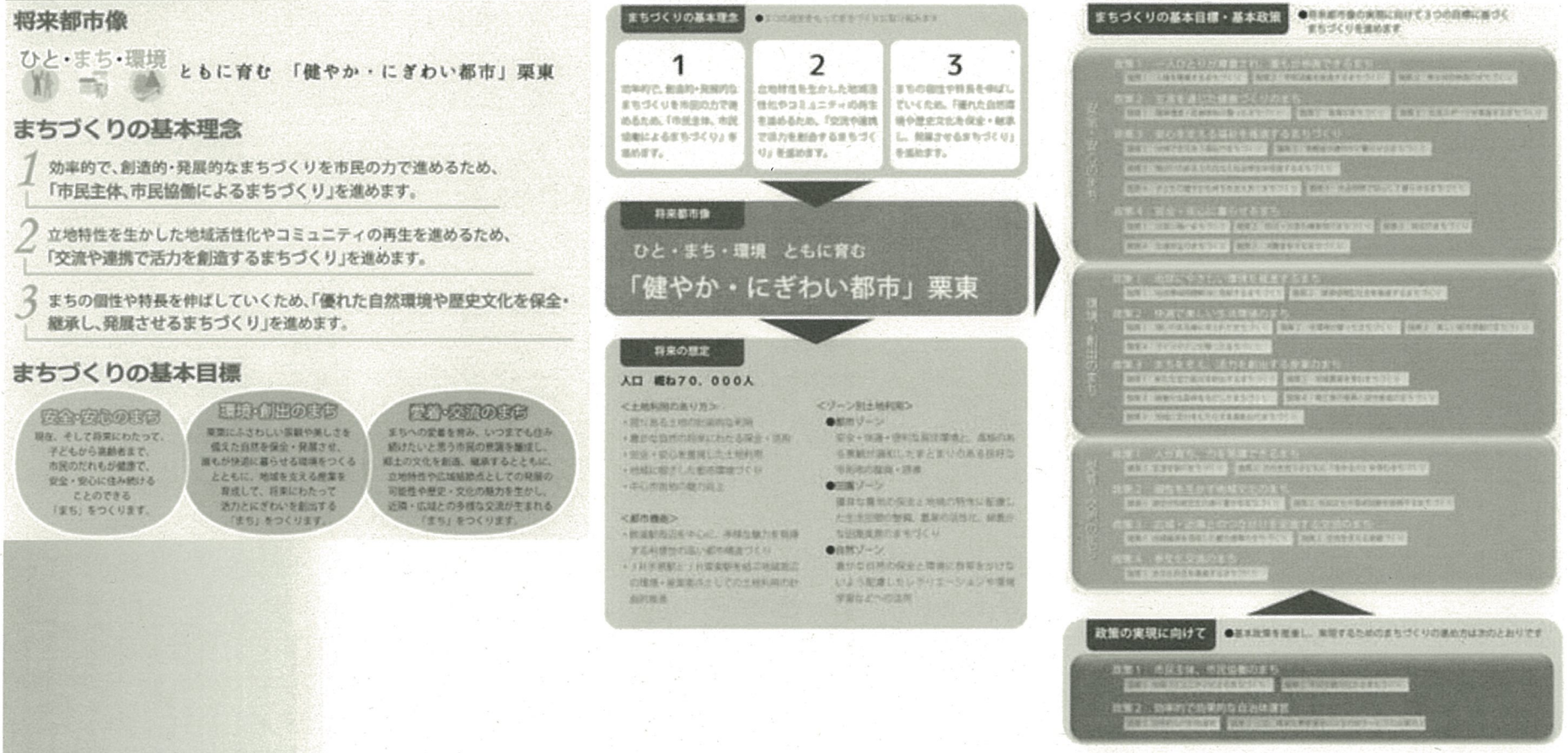


図　第五次栗東市総合計画(後期基本計画)の全体像及び施策体系



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

① 第五次栗東市総合計画後期基本計画(H27. 3)

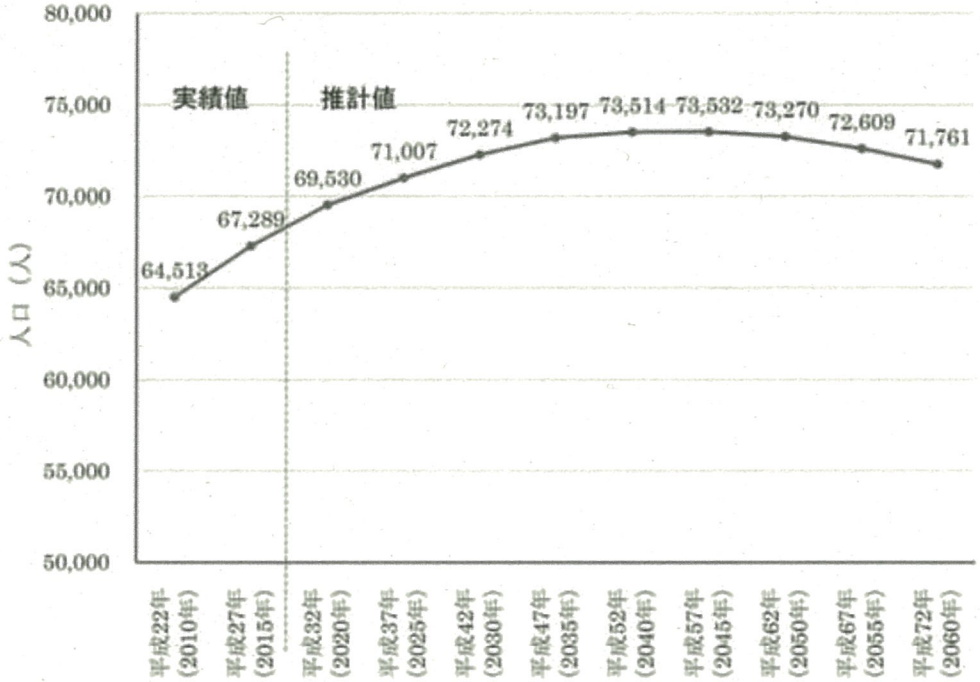
基本目標	政策	施策	基本方針	基本事業
愛着・交流のまち	政策3 広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち	施策2 交流を支える基盤づくり	・県南部地域への流通の時間短縮・コスト縮減、情報の即時交流により企業活動を活性化させる幹線道路等を整備・促進します。 ・ＪＲ琵琶湖線及び草津線の利便性向上及び沿線の活性化を図るため、関係機関への働きかけを行い、市民の利用を促進します。 ・地域住民の日常生活における移動手段の確保、高齢者等の外出機会の増加、地球環境保全への貢献に向け、「栗東市バス交通体系計画」に基づくコミュニティバス運行等による公共交通機関の充実を図ります。	広域・近隣とのつながりを促進する基盤整備 (1) 道路ネットワークの整備促進 ①国道１号・８号バイパス及び大津湖南幹線など幹線道路の整備により、地域間の連携と交流を促進します。 ②都市計画道路などによる道路網の構築に向け、道路整備プログラムの定期的な見直しを行い、道路網の整備を推進します。 公共交通ネットワークの促進 (1) 鉄道アクセスの整備 ①ＪＲ栗東駅への新快速列車の停車を要望します。 ②ＪＲ草津線の複線化につながる段階的整備の促進を要望します。 ③便数の増加や輸送時間の短縮など、輸送力の増強を要請します。 (2) 交通ターミナル機能の促進 ①鉄道利用の拡大やパーク＆ライドによる公共交通へのモーダルシフトを促進します。 (3) バスネットワークの確保 ①利用者の拡大や運行の見直しにより、くりちゃんバスの効率的・効果的な運行を推進します。 ②民間バス交通の利便性の向上を要望します。 (4) 自転車交通の促進 ①環境にやさしく、観光振興にも有効な交通手段として、自転車交通ネットワークの構築と、自転車利用の促進を図ります。



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

② 栗東市人口ビジョン(H28. 3)

目指すべき将来像
≪人口の目標≫
○総人口
・平成57年(2045年)に約73, 500人
・平成72年(2060年)に約72, 000人
○20歳代などの若者流入の継続的拡大
○30歳代、40歳代などの市外流出の削減



人口の変化が地域の将来に与える影響

○人口・世帯は当面増加基調にありますが、このまま地域の雇用機会の拡大がないなどの要因で若い世代の流入人口が減少し、出生率も低下した場合、将来的に人口は減少傾向に転じ、地域経済の縮小が表れると考えられます。

○近年の変化として、本市の人口増を支えていた若年層の流入低下などが表れ、このままいけば今後子どもの数の減少と高齢化が進展すると考えられます。

○若年層が多いことを背景に、マイカー利用などでの消費行動パターンが定着し、必ずしも身近に生活施設を必要としない状況もありましたが、今後高齢者の増加にも対応したまちづくりが必要となると考えられます。

○35 歳代以降の中年層の市外流出が表れており、周辺都市への住み替えなどのニーズと考えられますが、今後定住環境の整備によって人口流出に歯止めをかけていくことが重要です。

○学区による人口動向の違いによって、地域の活力の差が将来的にさらに拡大していき、その対応が問題となると考えられます。



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

③ 栗東市総合戦略(H28. 3)

総合戦略策定に向けての課題	基本目標	まちの特長（戦略の視点）	計画期間中に取り組む施策（戦略）
若者人口の流入確保と地元定着の促進 にぎわいのある暮らしやすいまちづくり 健康ニーズをサポートする取り組み 働きながら安心して子どもを育てられる環境づくり 安定した地域産業の形成	【まち】 地域の活力を生み出す人口確保・定着と地域連携により時代にあったまちをつくる 【ひと】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 【しごと】 立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる	◆交通の要衝 ◆豊かな自然・歴史・文化 ◆広範な産業構造 ◆高い合計特殊出生率 ◆馬	○良好な住環境の整備促進 ○市街地の活性化と地域拠点をつなぐまちづくりの推進 ○地域資源を活用したブランドづくりとシティプロモーションによるまちの魅力発信 ○観光事業の推進 ○誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進 ○結婚の希望をかなえる環境の整備 ○妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援 ○仕事と子育ての両立の支援 ○確かな学力と生きる力を育む教育環境の整備 ○すべての子どもの育ちを切れ目なく支える支援の実施 ○出産・子育てにかかる経済的負担軽減のための支援 ○就労を希望するすべてのひとへの機会の提供と良好な就労環境の創出 ○中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化による競争力の向上 ○消費者ニーズを踏まえた事業展開の支援 ○農林業の振興支援による活性化の推進 ○まちの立地特性を活かした地域に活力をもたらす産業の創出

<u>基本目標の達成に向けて取り組む交通に関連する施策</u>

○市街地の活性化と地域拠点をつなぐまちづくりの推進

（具体的取り組み）

○栗東駅周辺まちづくり基本方針に基づくプロジェクトの推進

○商業店舗滞留及び回遊のための仕組みづくり

例）・ＪＲ栗東駅エレベーター設置

・各種団体・協議会等との連携充実

・空きテナントの現状調査に基づく利用促進

・空きテナント活用によるチャレンジショップ事業

・（仮称）街かど美術館事業

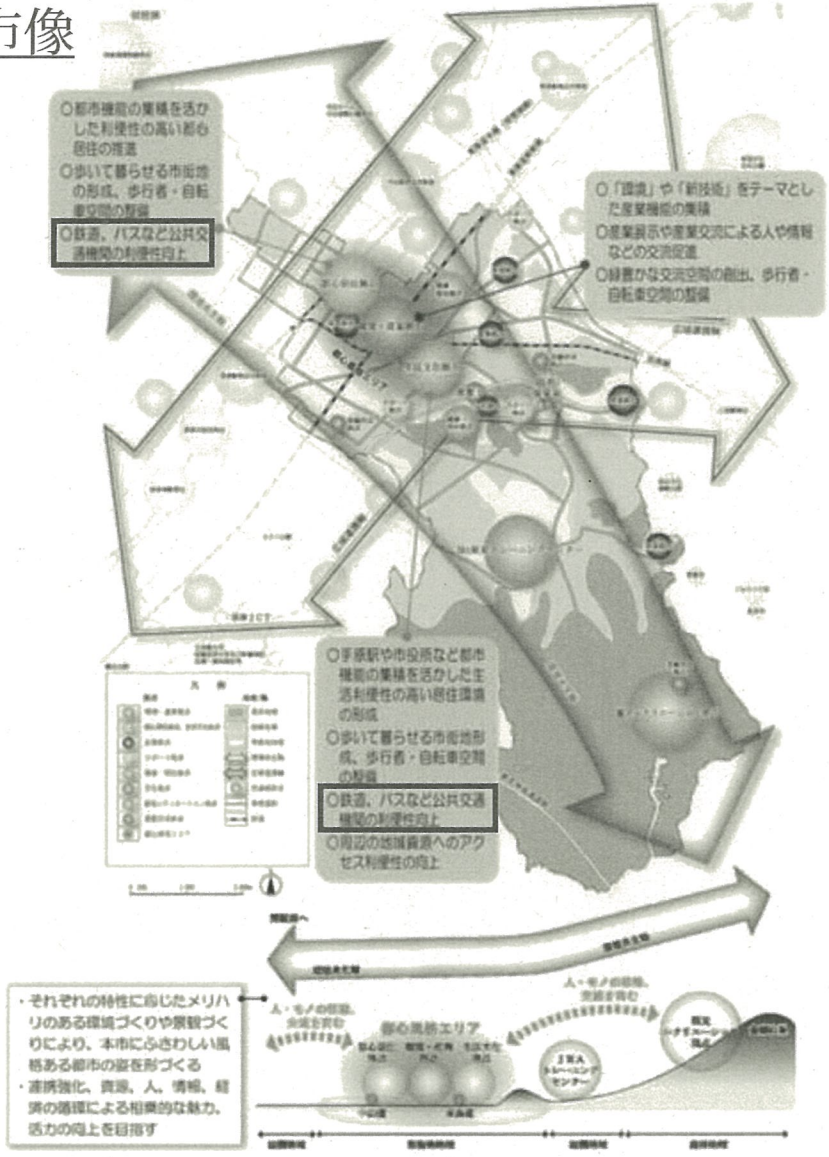
・バス環境整備事業　など



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

④ 第三次栗東市都市計画マスタープラン

将来都市像





7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

④ 第三次栗東市都市計画マスタープラン

(2) 公共交通機関の整備方針

1） ＪＲの利便性の向上

・環境負荷の少ないまちづくりを基本として、ＪＲ東海道本線及び草津線の利便性の向上を図るため、栗東駅への新快速列車の停車、草津線の複線化や琵琶湖線の複々線化につながる段階的整備、便数の増加や輸送時間の短縮の働きかけを行います。

・パークアンドライドの推進など、市民の鉄道利用の拡大を促し、交通混雑の緩和を図ります。

・鉄道駅において観光案内所や案内看板等を設置するとともに、鉄道駅から東海道、中山道など地域の歴史・文化資源へのアクセス性の向上などの連携を進めます。

2）バスネットワークの利便性の向上

・地域住民の日常生活における移動手段として、今後の道路整備計画や整備状況、財政状況を踏まえた運行の見直しにより、コミュニティバスの効率的・効果的な運行を推進します。

・民間バス等の利便性の向上を図るとともに、民間バスとコミュニティバスとの適切な連携により、利用しやすいバスネットワークの形成を推進します。

・鉄道駅等へアクセスしやすい道路空間や、案内看板の充実等により、鉄道駅やバス停等の分かりやすく、利用しやすい環境づくりに取り組みます。

・民間活力による観光シャトルバスの運行など、市内の観光資源と連携したバスネットワークの充実を図ります。



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

⑤ 滋賀交通ビジョン(H25. 12)



南部地域における課題解決のための考え方

地域のニーズ	・人口・交通需要増に対応した公共交通サービス供給 ・道路渋滞の緩和 ・バス利用の利便性向上	・自転車の安全な利用 ・道路渋滞の緩和	・自動車利用削減による交通渋滞緩和 ・市街地の拡散を抑制した集約型都市構造 ・道路交通の安全 ・観光資源としての湖上交通の活用
目指すべき交通の姿	・公共交通を主体とした「エコ交通」の推進	・自転車を利用しやすい環境づくり	・まちづくりと一体となった交通の整備 ・都市中核施設間の公共交通アクセス向上
課題解決のための施策	・バス交通の定時性を高める道路環境改善 ・琵琶湖線の利便性向上の促進 ・草津線の利便性向上の促進 ・交差点改良等の道路渋滞対策	・自転車走行空間の確保 ・駐輪場の整備促進 ・年齢層や利用の場面に応じた自転車ルール・マナー啓発	・徒歩、自転車、公共交通で移動するコンパクトなまちづくり ・都市中核施設間を結ぶ路線バスの活用や、LRT、BRT等都市型の新たな交通システムの検討 ・交通事故を抑制する道路環境整備と総合的な交通安全対策 ・湖上交通を活用した観光誘客の検討



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

⑥ 栗東市バリアフリー基本構想(H27. 07)

基本理念及び基本方針

■ 基本理念 ■

だれもが移動しやすく、思いやりにあふれるまち　栗東

■ 基本方針 ■

① 市民・当事者参画型のバリアフリー化の推進

② 継続的・段階的なバリアフリー化の推進

③ 「心のバリアフリー」の推進

④ 関係機関が連携した効果的かつ効率的なバリアフリー化の推進

バリアフリー化のための事業

事業	具体の内容
公共交通特定事業	・特定旅客施設におけるバリアフリー整備に関する事業を位置づけます。 ・栗東駅西口は、エスカレーターの設置にとどまっていますので、西口エレベーターの整備事業を短期事業に位置づけます。 ・その他の事業については、西口エレベーターの整備と並行して、緊急度に応じて中長期的な観点から対応していきます。ただし、部分的な改善で対応が可能な場合は、短期で対応していきます。
交通安全特定事業	・バリアフリー化のために必要な信号機、道路標識又は道路標示の設置、違法駐車行為の防止等に関する事業を位置づけます。 ・バス停の上屋、ベンチの整備については、今後のバス利用状況により検討します。
その他のバリアフリーに関する事業	・西口駅前広場 ・東口駅前広場



7. 地域公共交通に係る上位・関連計画

⑦ 第9次栗東市交通安全計画(H22)

基本理念：交通事故のない栗東を目指して

真に豊かで活力のある社会を構築していくためには、市民の安全と安心を確保していくことが極めて重要です。そこで、人命尊重の理念に基づき、悲惨な交通事故による死者数の一層の減少に取り組むことはもちろんのこと、事故そのものの減少にも積極的に取り組み、究極的には交通事故のない栗東を目指します。

地域公共交通に関連する安全施策

(6) 交通需要マネジメントの推進

道路交通渋滞の緩和と道路交通の安全と円滑化を図るため、道路の整備や交差点の改良等の交通容量の拡大策に加えて、公共交通とエコ交通の発展、公共交通機関利用の促進、自動車利用の効率化等を推進します。

ア 公共交通とエコ交通の発展

交通総量の抑制は、地球温暖化の抑制をはじめとする環境保全と交通事故防止の両面からも重要な課題です。交通量を削減し、市内の幹線道路の渋滞を緩和することは、生活道路への自動車流入を防ぎ交通事故を防止します。公共交通機関の一層の利便性向上とマイカー自粛等、近区間の移動に用いる交通手段の改善を推進します。

イ 公共交通機関利用の促進

子どもや高齢者等の生活における移動手段を確保するため、平成 15 年度から運行を開始しているコミュニティバス「くりちゃんバス」の積極的な利用を促進し、道路交通の円滑化を図ります。

栗東市コミュニティバス・タクシー くりちゃんバス

併せて、鉄道、バス事業者による運行頻度・運行時間の見直し、乗り継ぎ改善等により、交通の接続や連絡機能の強化を図ります。